

For Discussion Purpose Only

地域幸福度（Well-Being）指標

主観指標と客観指標の相関分析

2024年3月25日

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事 南雲岳彦



Smart City
Institute Japan

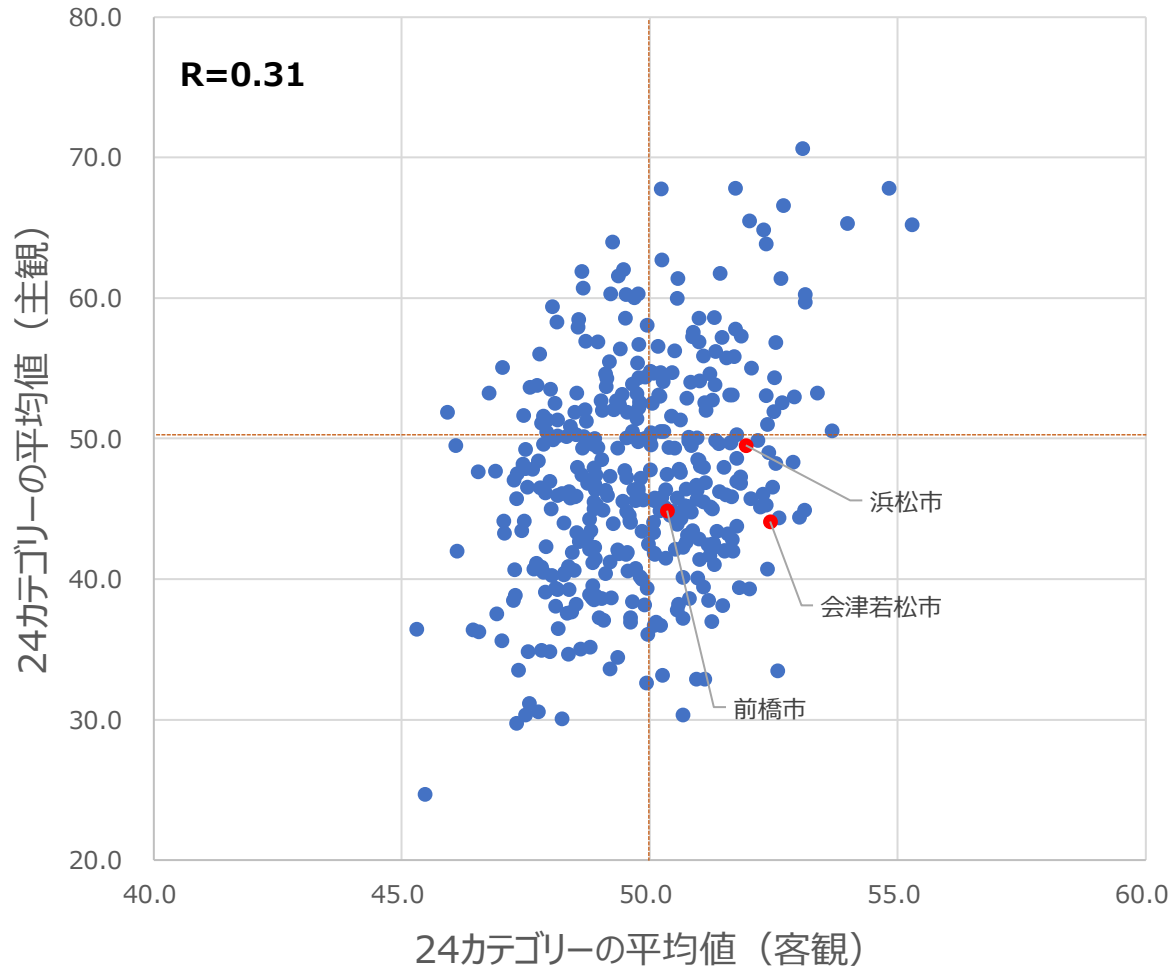
本分析のサマリー

- 令和5年7月10日付の第3回検討会にて提示した主観・客観指標間の相関性分析（次頁）つき、もう一段踏み込んだ分析を実施。
- その結果、**73%の客観指標に主観指標との相関性（相関係数0.4以上）が確認できた**。その内訳は、以下の通り。
 - ① **現状のKPIのまま状態（基礎自治体単位の人口全体）で相関性がある = 36%**
 - ② **セグメント分け（年齢・性別・地理）すると、相関性が確認できる = 37%**
- 主観指標との相関性が確認しにくい客観指標（残りの27%）には、以下のような原因が考えられる。
 - ① **主観の質問にぴったり合う客観指標が存在しない（またはその逆）（例：自己効力感、町内の信頼）。**
 - ② **認知バイアスが働き、客観的な事実が主観に現れにくい（例：自然災害、事故・犯罪）。**
- 上記が、主観アンケートの質問数を一定数（50問）に絞り込み、かつ現在入手可能な客観指標を最大限活用した前提での、地域幸福度（Well-Being）指標の相関性に関する「製品性能」。主観・客観のデータを適切に活用するには、指標の持続的な改善を進めることに加え、**両タイプのデータの補完性**を理解の上、**地域特性やコンテキストに沿ったデータの活用**を実現するための「現場の実践知」の開発が大切。

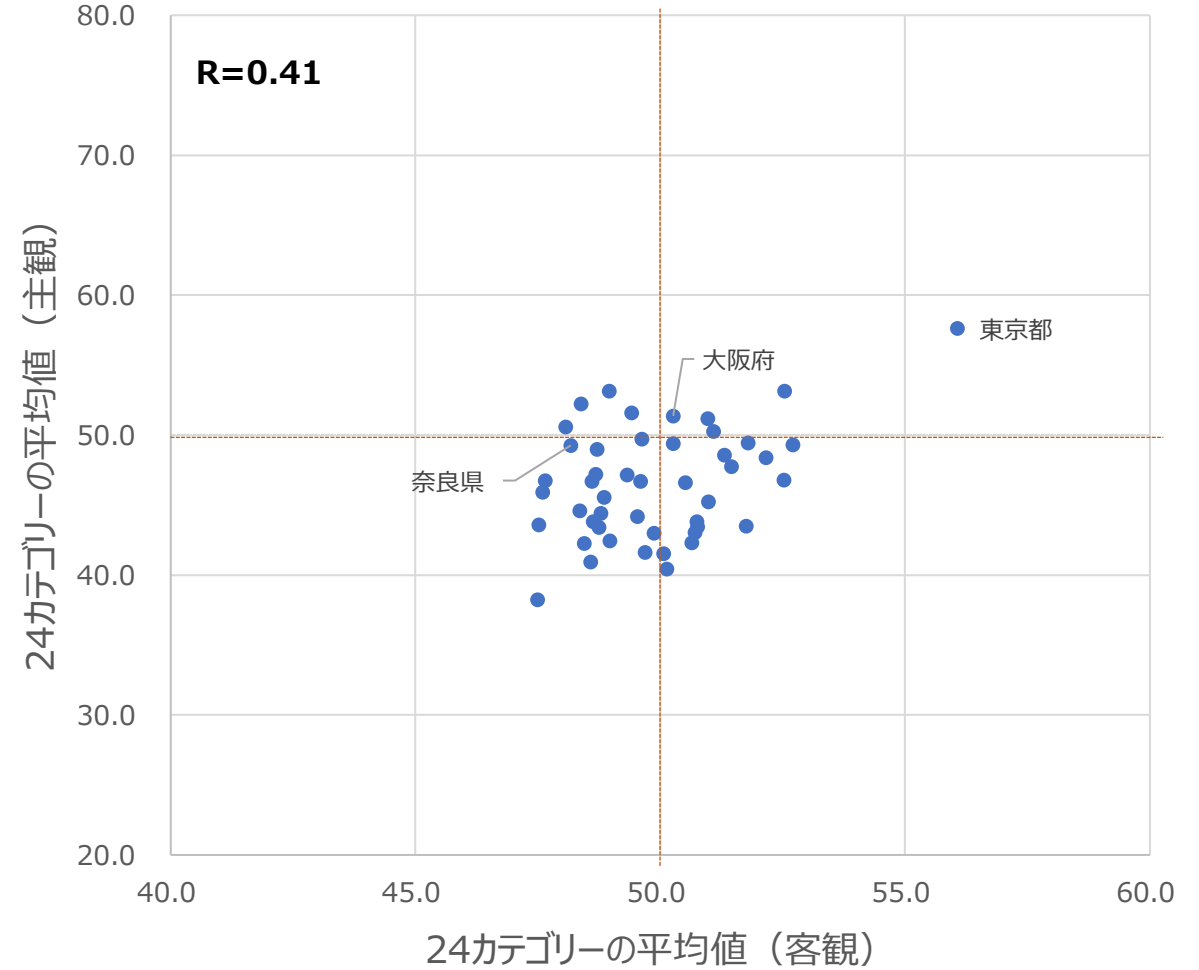
(第3回検討会資料から抜粋) アンケート質問項目の主観と客観

市区町村レベル：サンプル数100以上の391市区町村を対象に分析、都道府県レベル：47全都道府県を対象に分析

24カテゴリーの平均値 主観 vs. 客観 (市区町村)

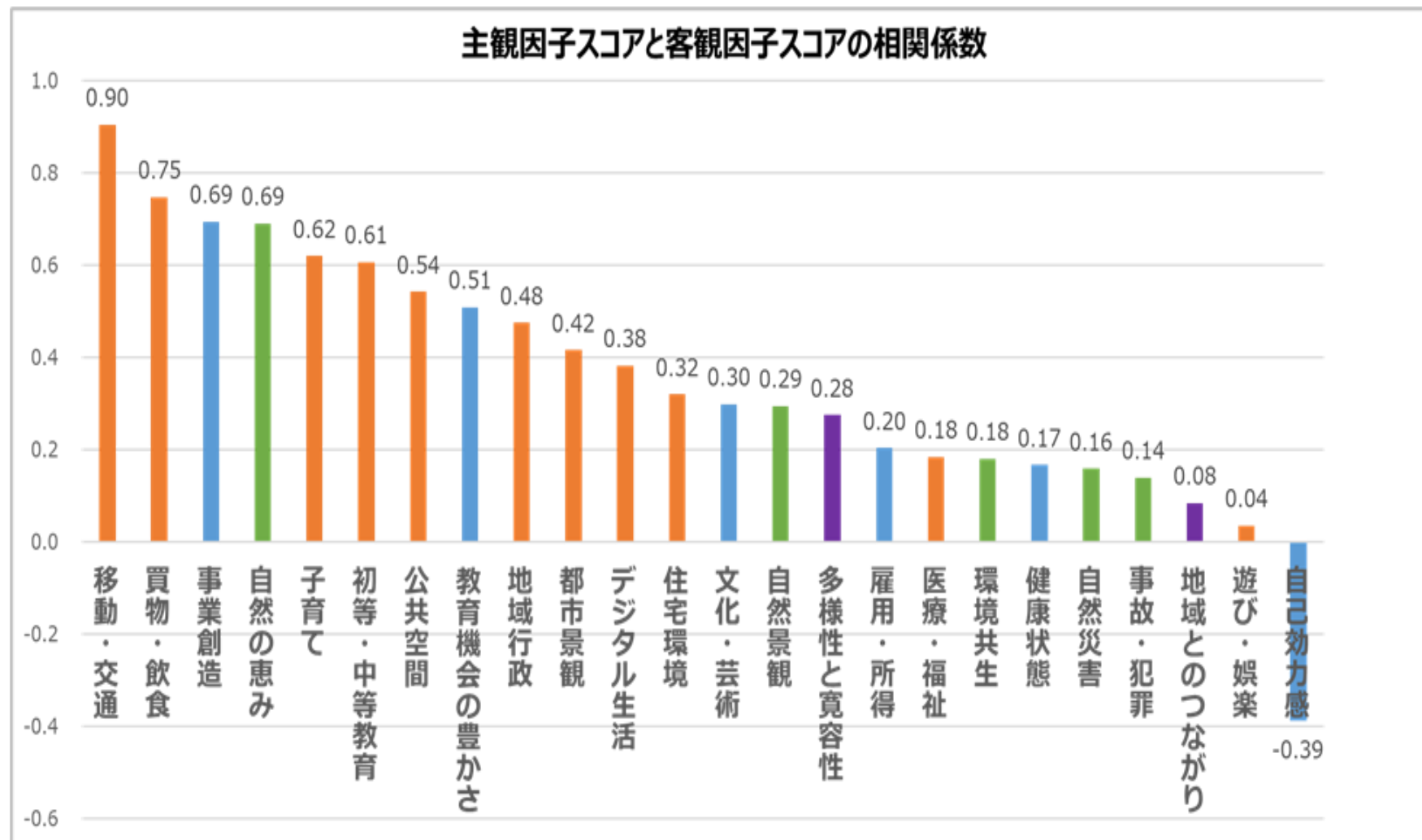
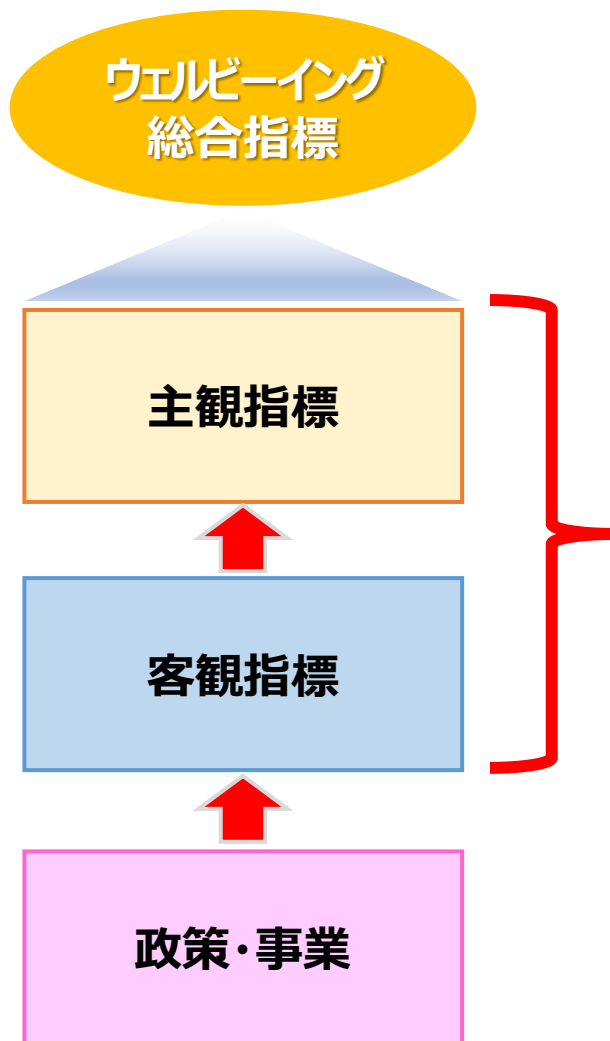


24カテゴリーの平均値 主観 vs. 客観 (都道府県)

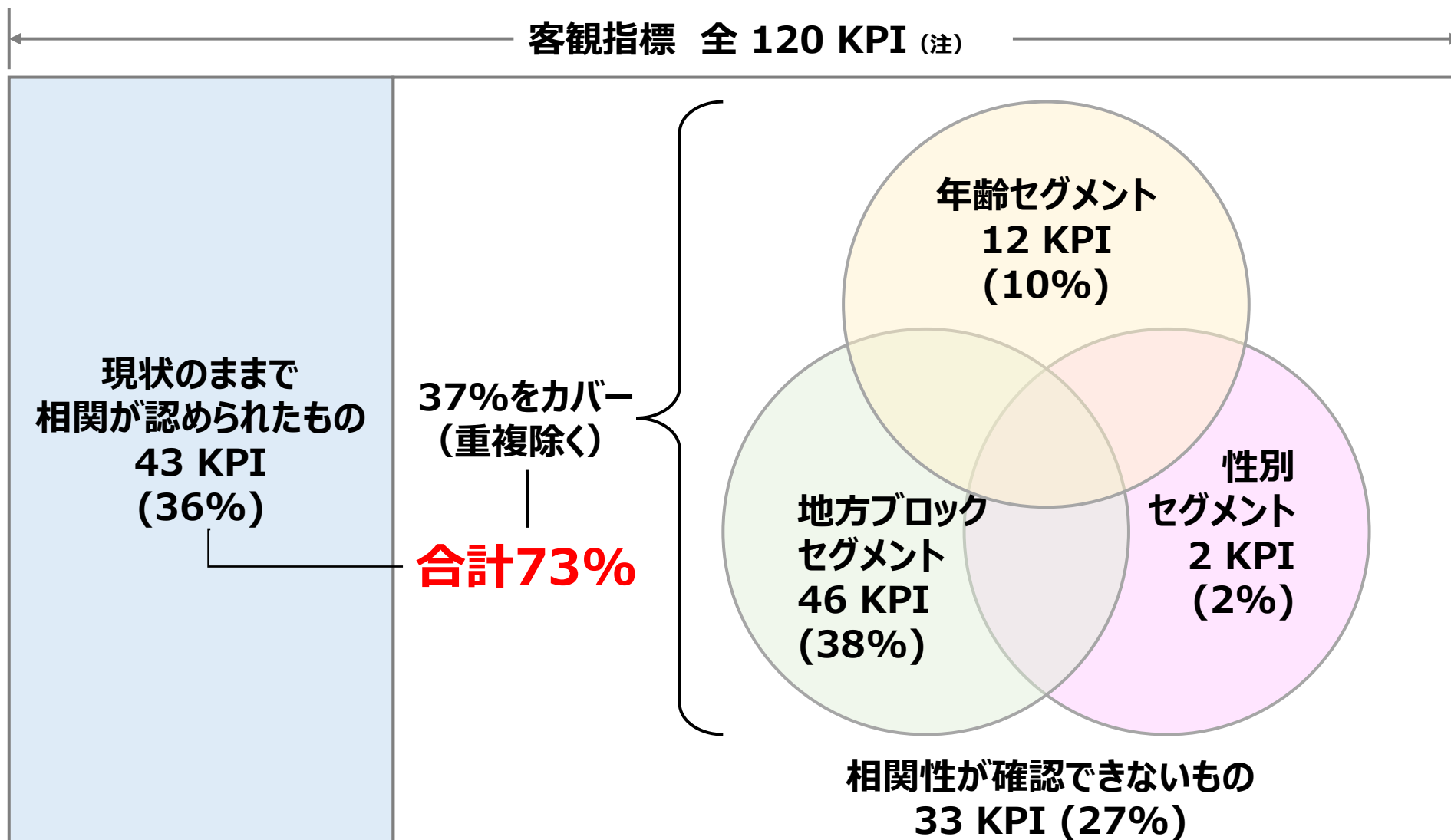


24カテゴリーの主観・客観間の相関性（10カテゴリーで相関係数0.4以上）

【ロジックモデル】



KPIレベルへのブレークダウンでは、客観指標全120KPIの73%に相関あり



(注) 政策介入効果の測定に不向きなKPIを除外後

ここまでの分析結果を踏まえた政策的視点からの今後のKPIの活用の方向性

主観・客観指標間の相関性の有無

重要なKPIとして
今後も活用すべきもの

相関あり

全人口単位
で相関あり

- ・ 移動・交通
- ・ 買物・飲食
- ・ 事業創造
- ・ 自然の恵み
- ・ 子育て 等

セグメント別
では相関あり

- ・ 住宅環境や
- ・ 地域とのつながり
等

年齢セグメント

性別セグメント

地方ブロック

潜在的に
相関あり

- ・ 自己効力感
- ・ 町内の信頼
- ・ 認知症
- ・ 待機児童
等

相関性に
関わらず重要

- ・ 土砂災害
- ・ 刑法犯認知件数
- ・ 防災まちづくり
- ・ 自治体DX指数
等

主観・客観のぴったりした組合せが技術的に難しい
認知バイアスにより客観的事実を主観が捉えにくい

相関なし

政策介入効果の
測定に不向き

- ・ 医療施設徒歩圏人口密度(国交省都市モニタリングシート)
- ・ 福祉施設徒歩圏人口密度(同上)
- ・ 商業施設徒歩圏人口密度(同上)
- ・ 駅・バス停徒歩圏人口密度(同上)
- ・ 一施設当たり幼稚園児数(文科省学校基本統計)
- ・ 一施設当たり小学生数(同上)
- ・ 一施設当たり中学生数(同上)
- ・ 一施設当たり高校生数(同上)

削除 (8 KPI)

セグメント分け後の相関係数 (都市環境①)

相関性の分類

現：現状のままで相関が認められたもの（相関係数0.4以上）
 年：年齢セグメントで0.4以上
 性：性別セグメントで0.4以上

地：地方ブロック(関東地方・中部地方等)セグメントで0.4以上
 -：セグメント分けしても0.4以下
 (複数当てはまる場合は橙色)

相関低い客観指標の分類

○(潜) 潜在的に相関
 ○(重) 相関無いが重要
 ○(不) 不明

医療・福祉 (医療)		主観	
		医療機関が充実	
客観	医療施設徒歩圏人口カバー率	現	
	人口あたり国民健康保険者医療費	地	
	人口あたり後期高齢医療費 (潜)	-	
	特定健診実施率 (潜)	-	

医療・福祉 (福祉)		主観	
		介護福祉サービス良	
客観	福祉施設徒歩圏人口カバー率	年,地	
	人口あたり児童福祉施設数 (潜)	-	
	人口あたり障害者施設数 (潜)	-	
	人口あたり認知症サポーター・サポーター数 (潜)	-	

買物・飲食 (買い物)		主観	
		買い物に不便がない	
客観	商業施設徒歩圏人口カバー率	現	
買物・飲食 (飲食)		主観	
		飲食を楽しめる	
客観	可住地面積あたり飲食店数	現	
	人口あたり飲食店数	年	

住宅環境 (住居)		主観	
		適度な費用で住居を確保	自宅に心地のいい居場所
客観	住宅当たり延べ面積	現	-
	平均価格(住宅地)	現	-
	専用住宅面積あたり家賃	現	-

移動・交通		主観	
		公共交通の移動良	
客観	駅・バス停留所徒歩圏人口カバー率	現	
	人口あたり小型車走行キロ	現	
	通勤通学に自家用車等を用いない割合	現	
	職場までの平均通勤時間 (潜)	-	

遊び・娯楽		主観	
		娯楽施設がある	
客観	人口あたり娯楽業事業所数 (潜)	-	

住宅環境 (環境)		主観	
		騒音に悩まされている	
客観	一戸建の持ち家の割合	現	

(注) 「～～徒歩圏人口密度」は政策によって改善する見込みが無い尺度であるため除外

セグメント分け後の相関係数 (都市環境②)

相関性の分類

現：現状のままで相関が認められたもの（相関係数0.4以上）
 年：年齢セグメントで0.4以上
 性：性別セグメントで0.4以上

地：地方ブロック(関東地方・中部地方等)セグメントで0.4以上
 -：セグメント分けしても0.4以下
 (複数当てはまる場合は橙色)

相関低い客観指標の分類

○(潜) 潜在的に相関
 ○(重) 相関無いが重要
 ○(不) 不明

子育て		主観	
		子育て支援が手厚い	子どもがいきいきと暮らせる
客観	保育所への距離1kmの住宅割合	現	現
	可住地面積あたり幼稚園数	現	現
	人口あたり待機児童数 (潜)	-	-
	歳出総額の教育費割合	地	年,性,地
	合計特殊出生率	地	地

公共空間		主観	
		行政は真剣に考えている	公共施設は使い勝手良
客観	人口あたり体育施設利用者数 (不)	-	-
	人口あたり図書館帯出者数	地	地
	人口あたり博物館入館者数 (不)	-	-
	財政指数	現	現

デジタル生活		主観	
		行政サービスのデジタル化良	仕事や日常でデジタル
客観	自治体DX指数 (重)	-	-
	デジタル政策指数	地	地
	デジタル生活指数	地	地

初等・中等教育		主観	
		小中高校が整っている	通学しやすい学校
客観	可住地面積あたり小学校数	現	現
	可住地面積あたり中学校数	現	現
	可住地面積あたり高等学校数	現	現

公共空間		主観	
		雰囲気自分にとって心地よい	街中や公園等で歩ける場所
客観	公園緑地徒歩圏人口カバー率	現	現
	人口あたり公園面積 (不)	-	-
	歩道設置率	現	地
	ウォーカブル指数	地	地

都市景観		主観
		自慢できる都市景観がある
客観	都市景観指数	現

(注) 「一施設あたり幼稚園児・小学生・中学生・高校生数」は政策によって改善する見込みが無い尺度であるため除外

セグメント分け後の相関係数 (自然環境)

相関性の分類

現：現状のままで相関が認められたもの（相関係数0.4以上）
 年：年齢セグメントで0.4以上
 性：性別セグメントで0.4以上

地：地方ブロック(関東地方・中部地方等)セグメントで0.4以上
 -：セグメント分けしても0.4以下
 (複数当てはまる場合は橙色)

相関低い客観指標の分類

○ 潜在的に相関
 ⊕ 相関無いが重要
 ⊖ 不明

自然景観		主観	
		自慢できる自然景観がある	
客観	自然景観指数 ⊕	-	

自然の恵み		主観	
		身近に自然を感じる	空気や水はきれい
客観	食料供給ポテンシャル ⊕	-	-
	水供給ポテンシャル	地	地
	木材供給ポテンシャル	現	現
	炭素吸収量	現	現
	蒸発散量	年,性,地	年,性,地
	地下水涵養量	現	現
	土壌流出防止量	現	現
	窒素除去量	地	現
	リン酸除去量	地	現
	NO2吸収量	現	現
	SO2吸収量	現	現
	洪水調整量	地	地
	表層崩壊への安現性	年,地	現
	緑地へのアクセス度	現	現
	水域へのアクセス度	地	地
	オートキャンプ場への立地	現	現

環境共生		主観	
		リサイクル等環境への取組良	
客観	NOx濃度 ⊕	-	
	PM2.5濃度	地	
	ゴミのリサイクル率	地	
	人口あたりCO2排出量	地	
	人口あたり再生可能エネルギー発電容量 ⊕	-	
	環境政策指数	地	

事故・犯罪 (事故)		主観	
		歩道や信号が整備	
客観	人口あたり交通事故件数 ⊕	-	

自然災害		主観	
		防災対策がしっかり	
客観	外水氾濫 ⊕	-	
	高潮 ⊕	-	
	土砂災害 ⊕	-	
	地震動 ⊕	-	
	津波	地	
	ハード対策	地	
	避難・救助 ⊕	-	
	要配慮者支援	地	
	防災教育	地	
	防災まちづくり ⊕	-	
情報・デジタル防災	地		

事故・犯罪 (犯罪)		主観	
		防犯対策・治安が良	
客観	人口あたり刑法犯認知件数 ⊕	-	
	空家率	現	

セグメント分け後の相関係数 (地域とのつながり)

相関性の分類

現：現状のままで相関が認められたもの（相関係数0.4以上）
年：年齢セグメントで0.4以上
性：性別セグメントで0.4以上

地：地方ブロック(関東地方・中部地方等)セグメントで0.4以上
-：セグメント分けしても0.4以下（複数当てはまる場合は橙色）

相関低い客観指標の分類

○(潜) 潜在的に相関
○(重) 相関無いが重要
○(不) 不明

地域とのつながり		主観				
		同じ町内の人を信頼	コミュニティ活動盛ん	相談できる人が身近	町内の人を手助け	町内に対して愛着
客観	人口あたり自殺者数	-	-	-	-	年
	拡大家族世帯割合	-	地	年,地	地	-
	既婚者割合	-	-	年,地	年,地	-
	高齢単身世帯割合	-	地	地	-	地
	居住期間が20年以上の人口割合	-	-	年,地	年,地	-
	祭りの数	-	-	-	-	地
	自治会・町内会加入率	-	地	-	-	-
	人口あたり政治団体等の数	○(不)	-	-	-	-
	人口あたり宗教の事業所数	-	地	年,地	地	地
	人口あたりNPOの数	-	-	-	-	地
	人口あたり都市再生推進法人(注)・UDC数	○(不)	-	-	-	-
	関係人口創出活動指数	-	地	-	-	地

多様性と寛容性 (女性)		主観
		女性が活躍しやすい
客観	議会の女性議員割合	現
	自治体における管理職の女性割合	年,地

多様性と寛容性 (多様性)		主観			
		町内どんな人の意見も受入	見知らぬ他者も信頼	人が自分をどう思うか気に	若い人が活躍しやすい
客観	自治体職員における障害者の割合	地	-	-	-
	人口あたり外国人人口	地	地	-	地
	多様性政策指数	地	-	-	地

(注)都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域のまちづくりを担う法人

セグメント分け後の相関係数 (自分らしい生き方)

相関性の分類

現：現状のままで相関が認められたもの（相関係数0.4以上）
 年：年齢セグメントで0.4以上
 性：性別セグメントで0.4以上

地：地方ブロック(関東地方・中部地方等)セグメントで0.4以上
 -：セグメント分けしても0.4以下
 (複数当てはまる場合は橙色)

相関低い客観指標の分類

潜 潜在的に相関
 重 相関無いが重要
 不 不明

自己効力感		主観	
		自分のこと好ましく	
客観	首長選挙の投票率 (不)	-	-
	市区町村議会選挙の投票率 (不)	-	-

健康状態		主観	
		身体的に健康	精神的に健康
客観	健康寿命 (男性)	地	地
	健康寿命 (女性)	地	-

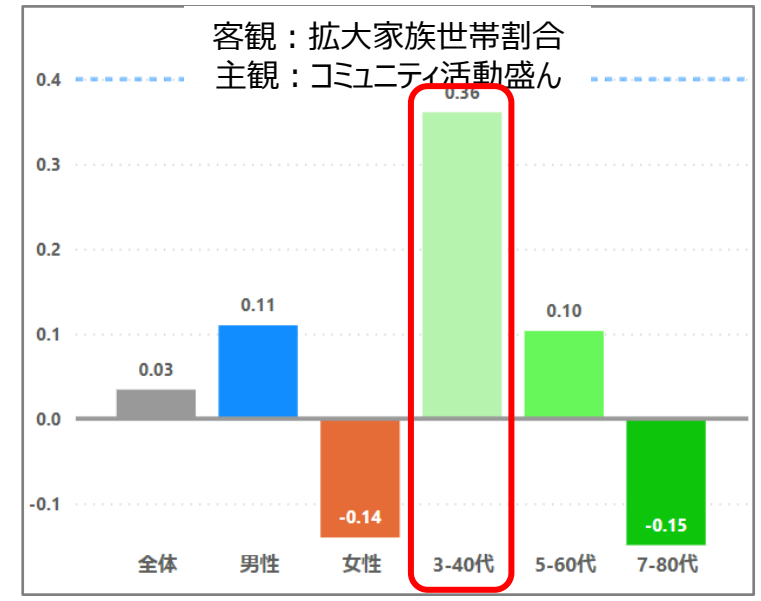
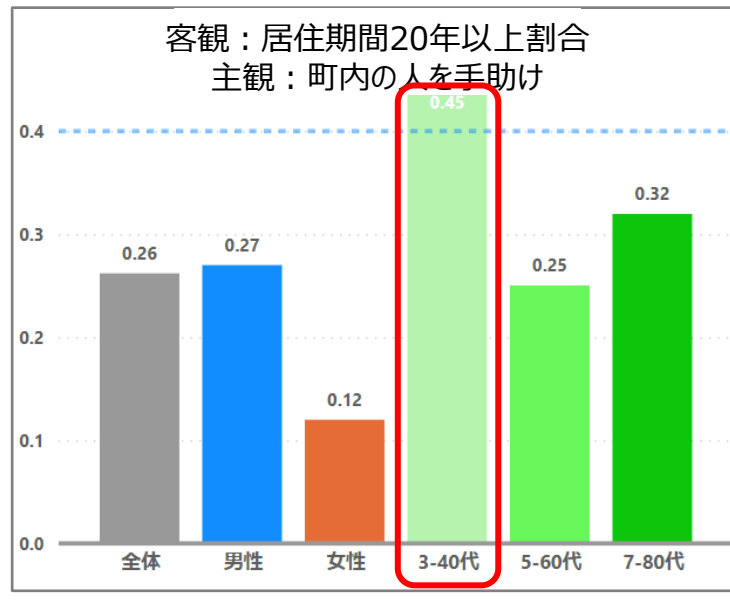
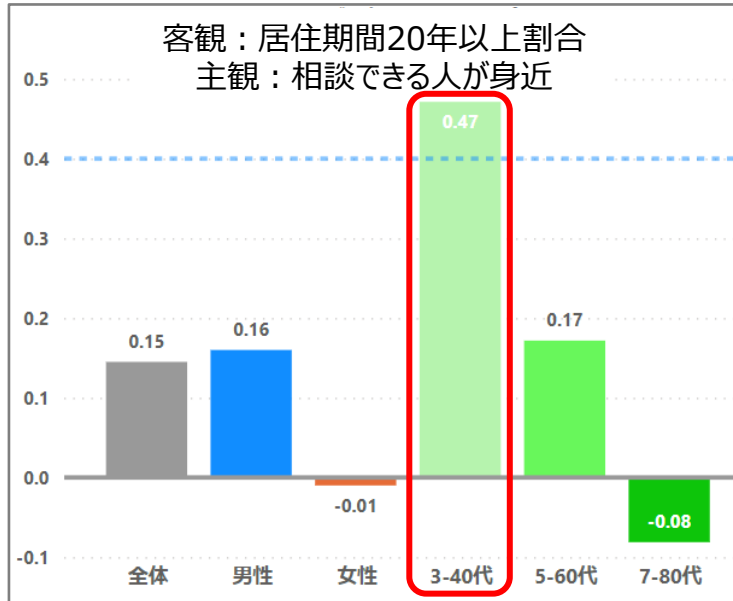
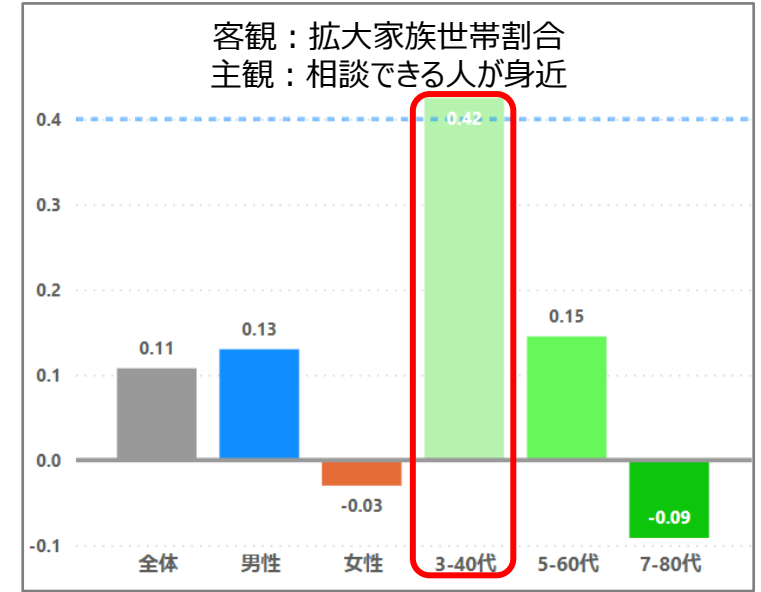
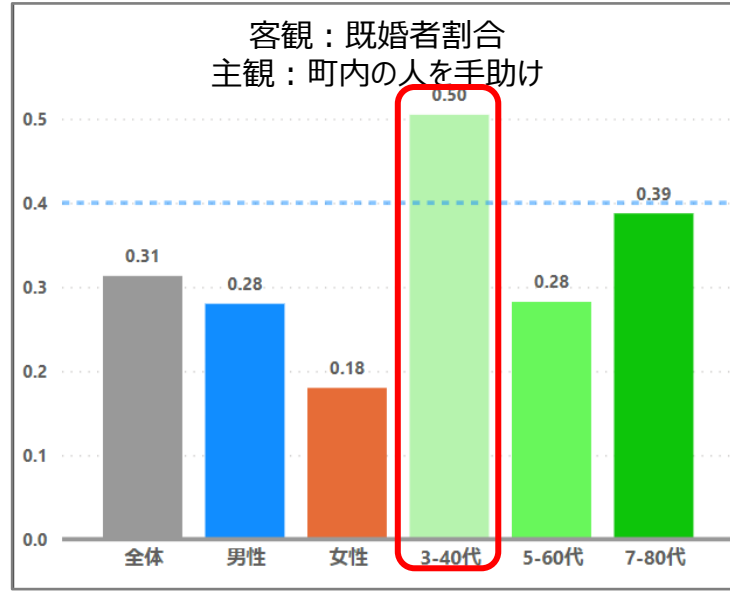
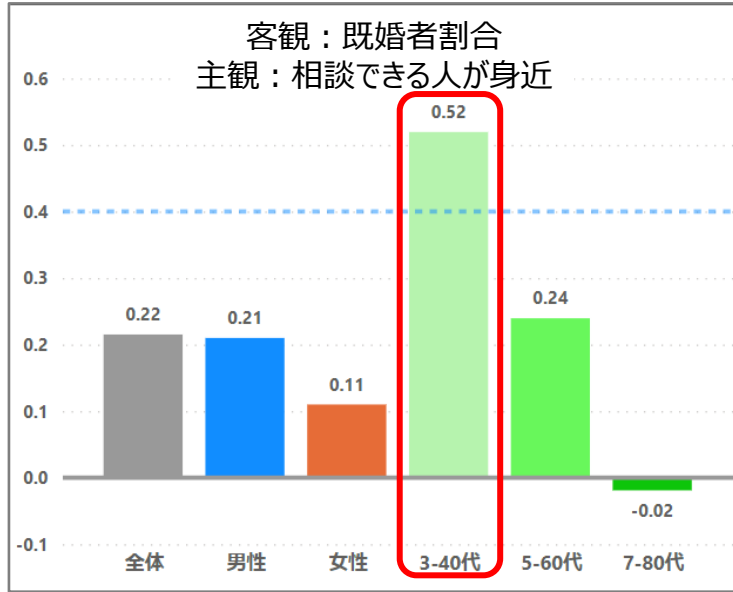
文化・芸術		主観	
		文化等が盛んで誇らしい	将来のため良い文化等を残したい
客観	芸術家・著述家等割合	現	現
	国宝・重要文化財(建造物)数 (重)	地	地
	日本遺産数	-	-

教育機会の豊かさ		主観	
		学べる機会	
客観	大卒・院卒者の割合	現	現
	可住地面積あたり大学・短期大学数	現	現
	可住地面積あたり私立・国立中高一貫校数	現	現
	人口あたり生涯学習講座数 (不)	-	-
	人口あたり生涯学習講座受講者数	地	地
	人口あたり青少年教育施設利用者数	年	年
	人口あたり女性教育施設利用者数	地	地

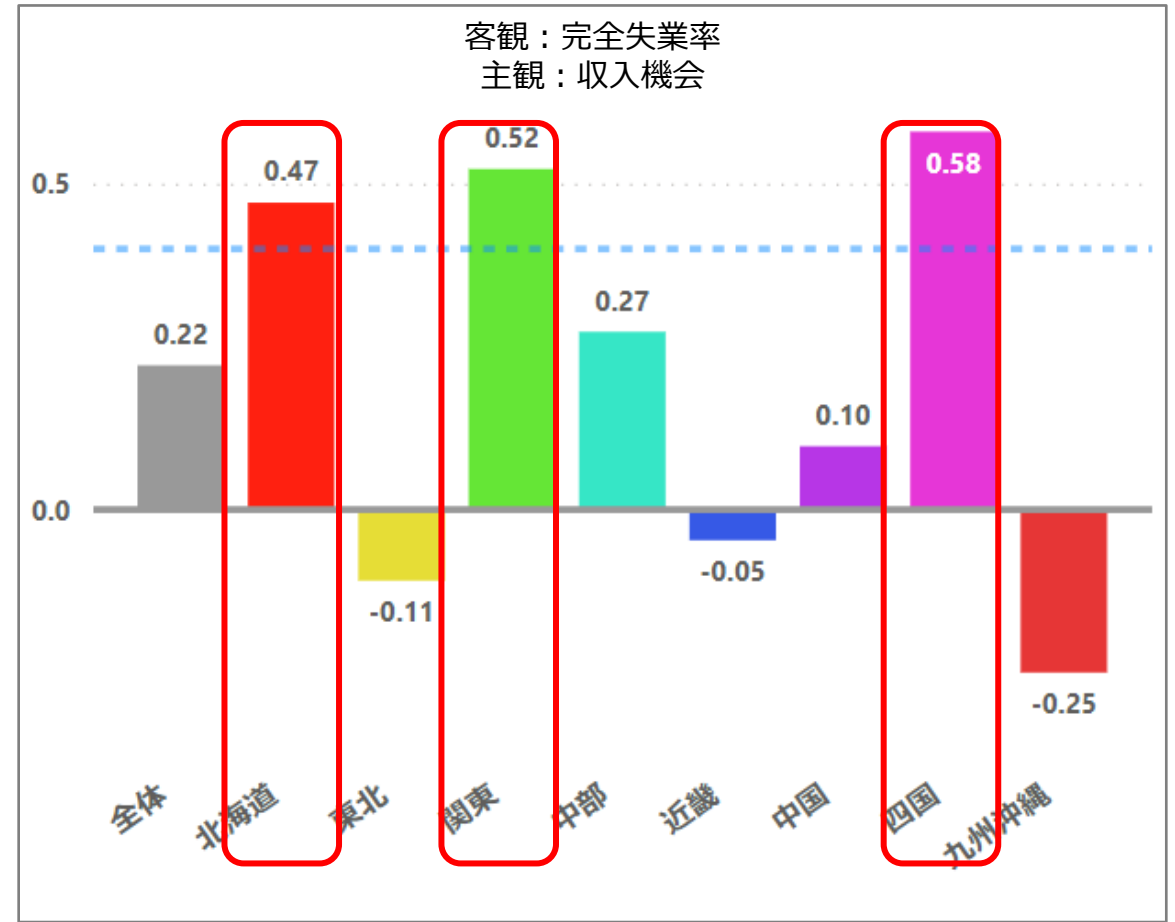
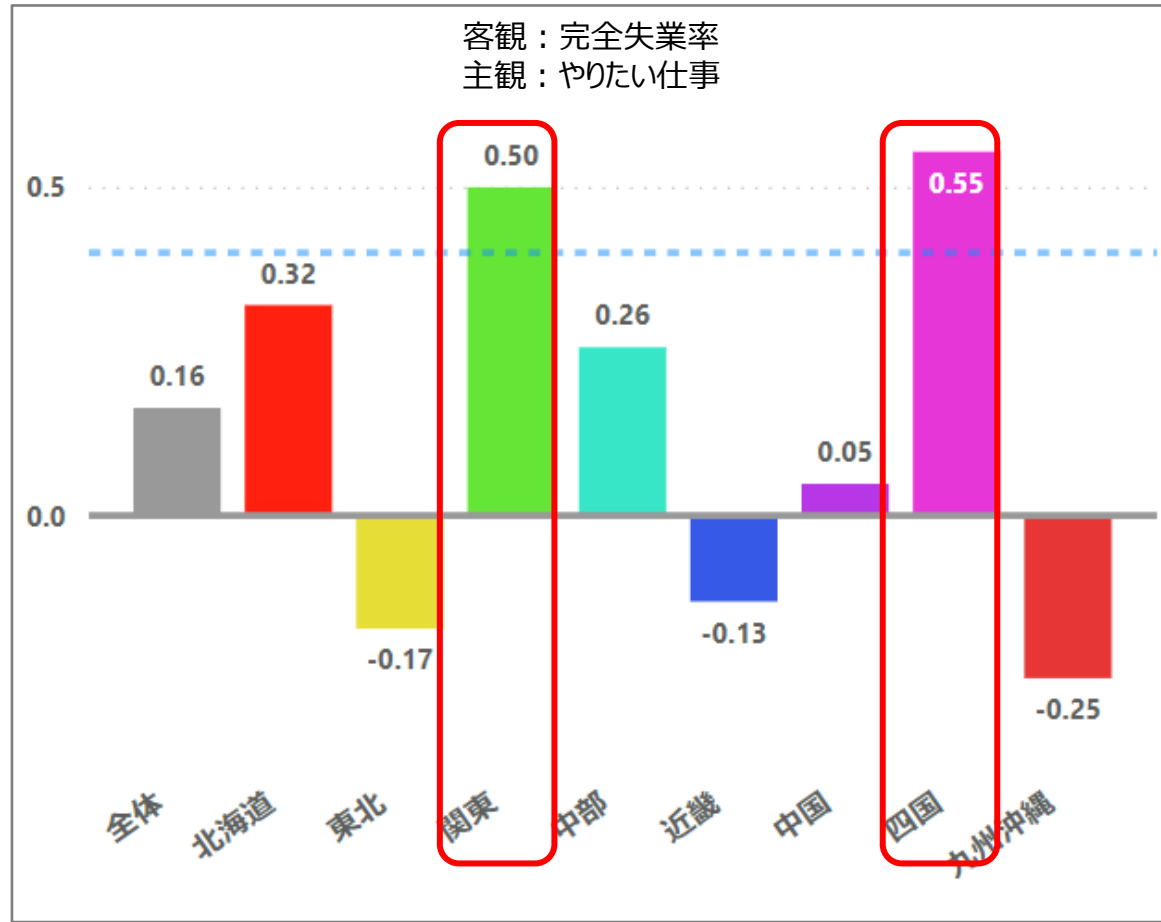
雇用・所得		主観	
		やりたい仕事	収入機会
客観	完全失業率	地	地
	若年層完全失業率	地	現
	正規雇用者比率	地	地
	高齢者有業率 (潜)	-	-
	高卒者進路未定者率 (潜)	-	-
	市区町村内で従業している者の割合 (潜)	-	-
	創業比率	現	現
	納税者あたり課税対象所得	現	現

事業創造		主観	
		挑戦・成長	
客観	クリエイティブ産業事業所構成比	現	現
	新規設立法人の割合	現	現
	従業者数あたりコワーキングスペース数	現	現
	大学発ベンチャー企業数	現	現

【年齢セグメント】 30~40代では地域に根ざしやすい環境に身を置いている層が地域とのつながりを感じやすい。子育て世代に地域とつながることを支援する政策が有効な可能性が

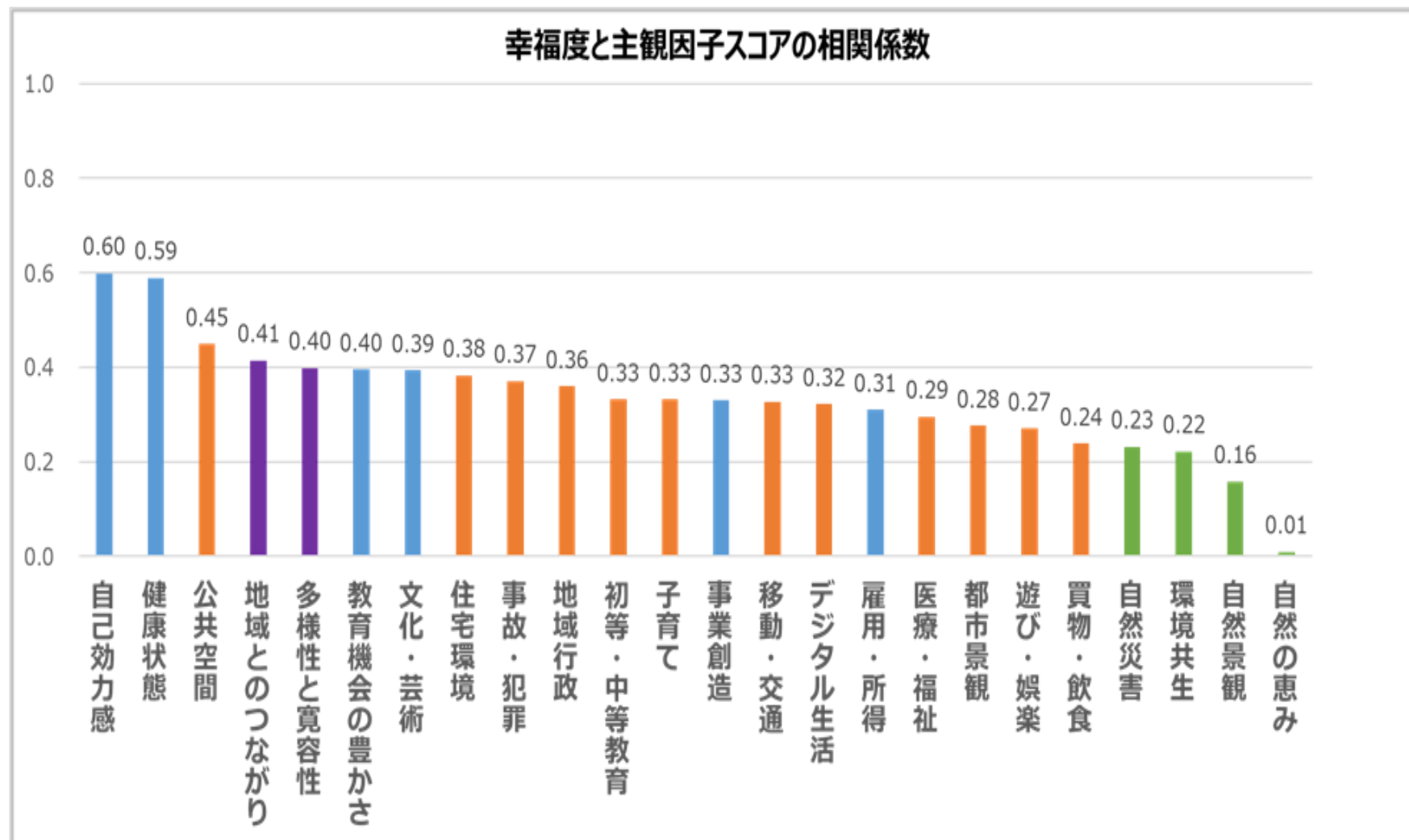
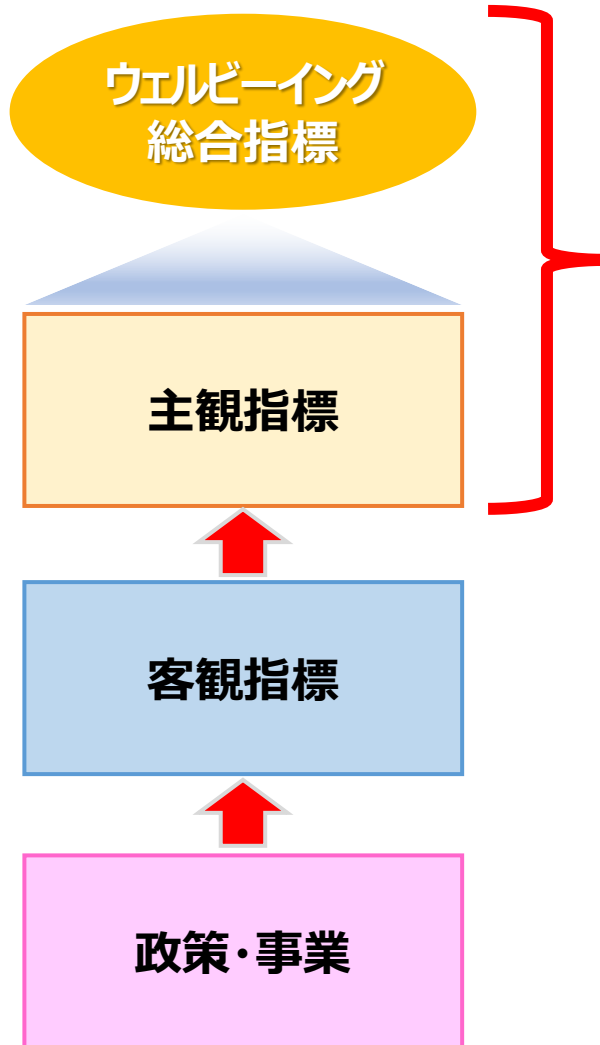


【地方ブロックセグメント】 関東地方と四国地方では、雇用状況と仕事ならびに収入への満足感が直結しやすい



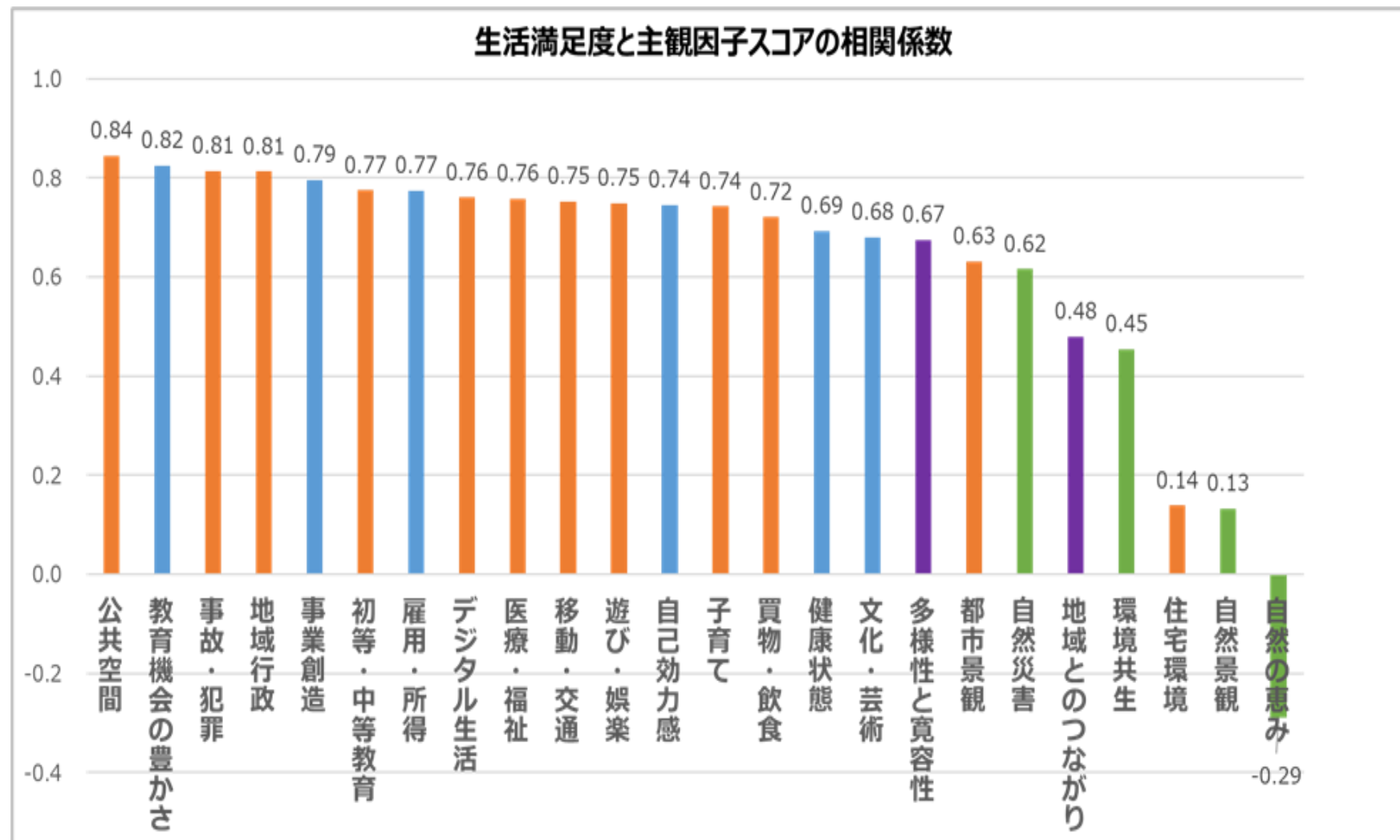
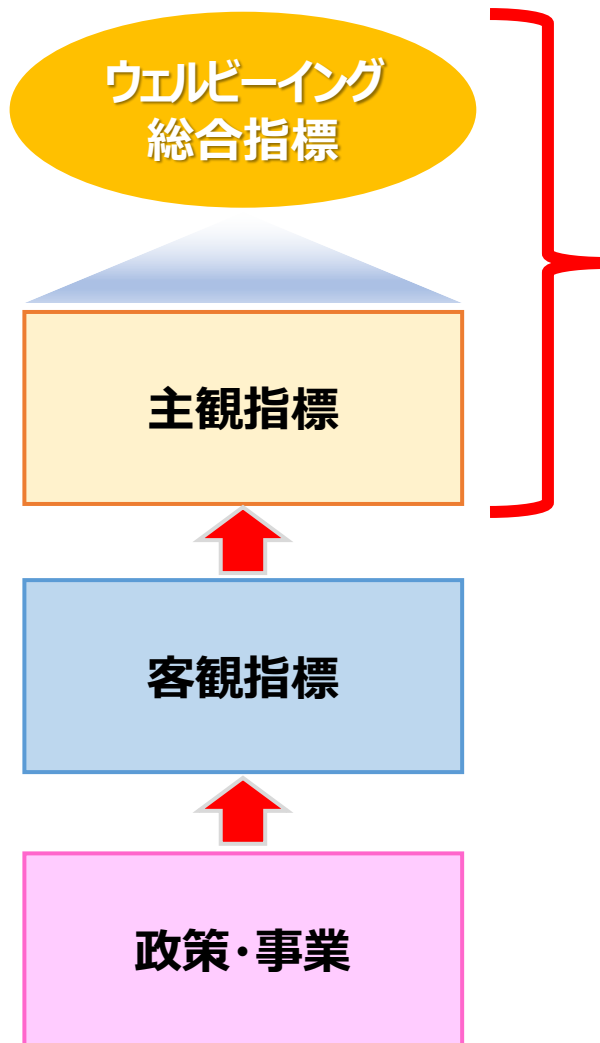
(ご参考①) 幸福度と主観因子のスコアとの相関性

【ロジックモデル】



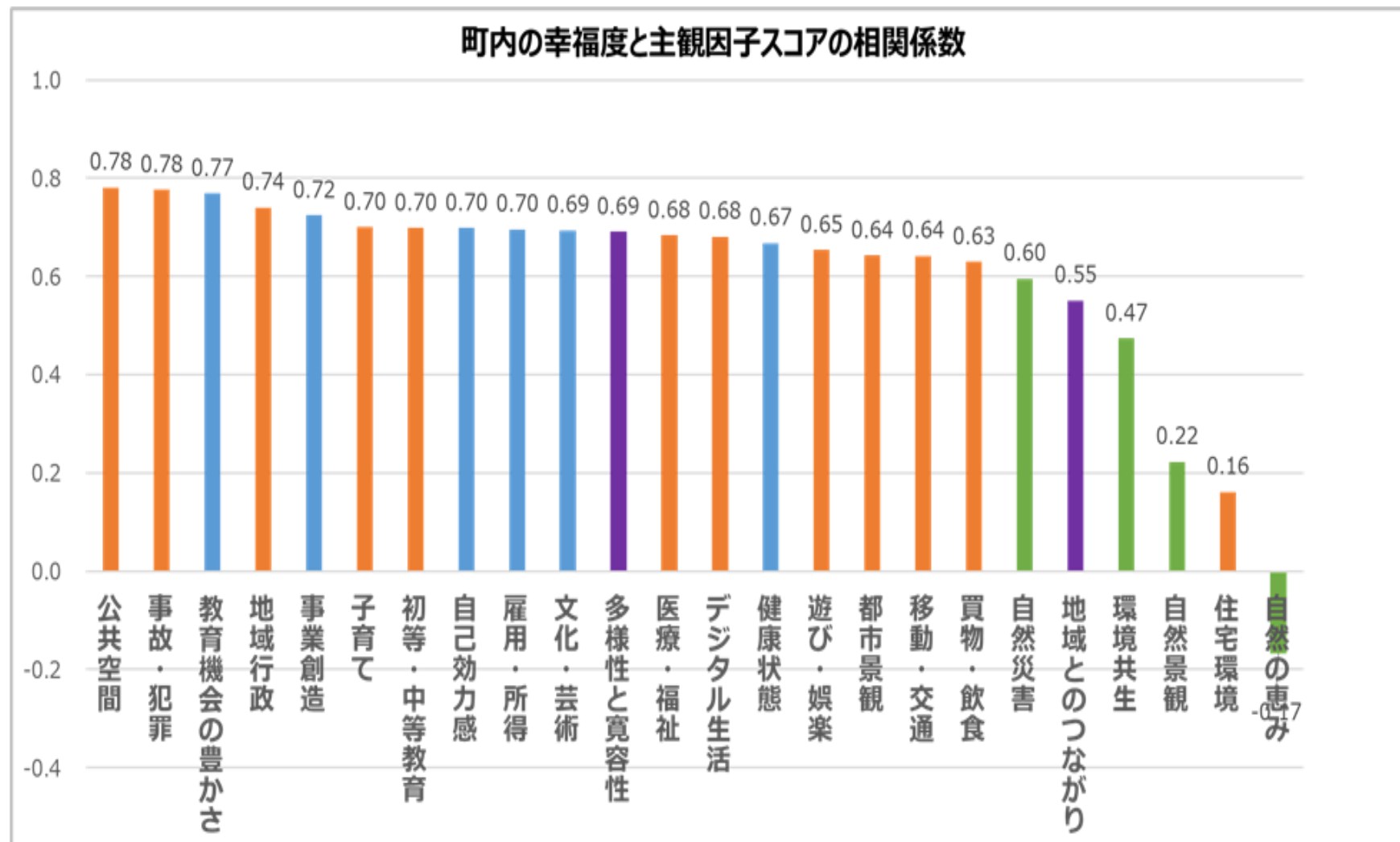
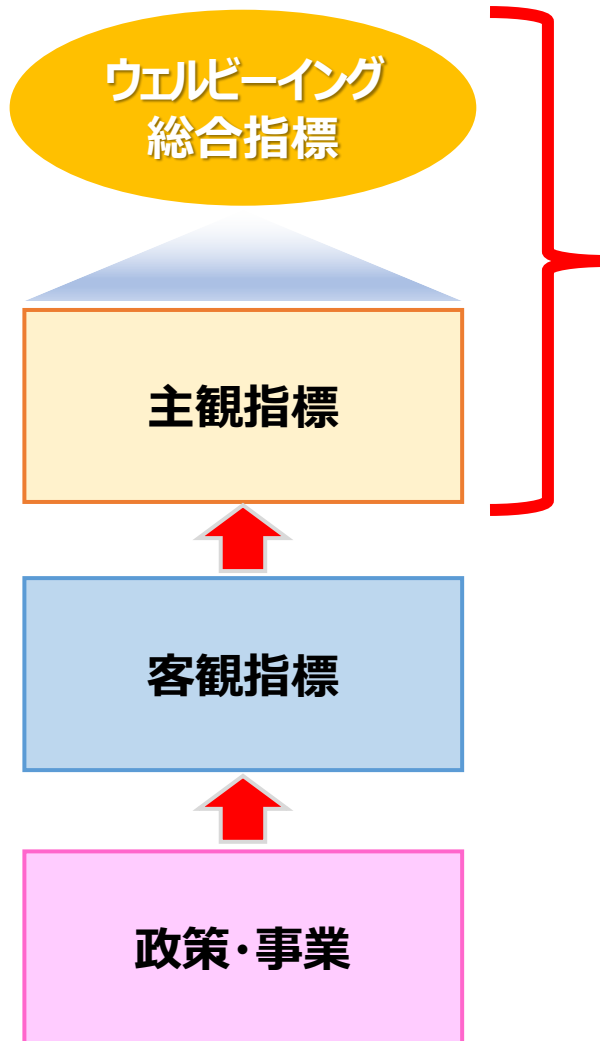
(ご参考②) 生活満足度と主観因子のスコアとの相関性

【ロジックモデル】



(ご参考③) 町内の幸福度と主観因子のスコアとの相関性

【ロジックモデル】



- ① **主観・客観の相関分析結果（今回実施分）**
- ② **主観・客観指標の一覧表**
- ③ **KPIの定義書（ガイドブック市区町村版から抜粋）**

【総合指標と主観指標】 多くの主観指標は幸福度や生活満足度等と相関

		幸福度	5年後の幸福度	生活満足度	町内の幸福度	周りも楽しい
医療・福祉	医療機関が充実	0.32	0.33	0.76	0.66	0.59
医療・福祉	介護福祉サービス良	0.34	0.35	0.75	0.68	0.62
買物・飲食	買い物に不便がない	0.31	0.33	0.75	0.64	0.57
買物・飲食	飲食を楽しめる	0.25	0.32	0.71	0.63	0.57
住宅環境	自宅に心地のいい居場所	0.58	0.57	0.79	0.72	0.69
住宅環境	【逆】騒音に悩まされている	0.05	-0.04	-0.24	-0.15	-0.10
住宅環境	適度な費用で住居を確保	-0.06	-0.11	-0.42	-0.39	-0.36
移動・交通	公共交通の移動良	0.36	0.34	0.76	0.64	0.58
遊び・娯楽	娯楽施設がある	0.31	0.34	0.76	0.66	0.60
子育て	子育て支援が手厚い	0.29	0.30	0.69	0.62	0.60
子育て	子どもがいきいきと暮らせる	0.42	0.41	0.79	0.74	0.73
初等・中等教育	小中高校が整っている	0.39	0.40	0.79	0.72	0.66
初等・中等教育	通学しやすい学校	0.35	0.35	0.77	0.67	0.62

		幸福度	5年後の幸福度	生活満足度	町内の幸福度	周りも楽しい
地域行政	行政は真剣に考えている	0.38	0.37	0.77	0.71	0.68
地域行政	公共施設は使い勝手良	0.38	0.39	0.83	0.72	0.68
デジタル生活	行政サービスのデジタル化良	0.35	0.38	0.74	0.66	0.61
デジタル生活	仕事や日常でデジタル	0.36	0.38	0.80	0.70	0.66
公共空間	雰囲気自分にとって心地よい	0.48	0.49	0.90	0.82	0.80
公共空間	街中や公園等で歩ける場所	0.41	0.36	0.69	0.64	0.61
都市景観	自慢できる都市景観がある	0.31	0.33	0.62	0.63	0.58
自然景観	自慢できる自然景観がある	0.17	0.16	0.14	0.22	0.25
自然の恵み	身近に自然を感じる	0.05	0.02	-0.24	-0.11	-0.05
自然の恵み	空気や水はきれい	-0.05	-0.07	-0.32	-0.20	-0.15
環境共生	リサイクル等環境への取組良	0.24	0.24	0.46	0.47	0.47
自然災害	防災対策がしっかり	0.26	0.26	0.63	0.59	0.59
事故・犯罪	防犯対策・治安が良	0.43	0.41	0.81	0.77	0.73
事故・犯罪	歩道や信号が整備	0.36	0.37	0.79	0.74	0.69

【総合指標と主観指標】 多くの主観指標は幸福度や生活満足度等と相関

		幸福度	5年後の幸福度	生活満足度	町内の幸福度	周りも楽しい
地域とのつながり	同じ町内の人を信頼	0.44	0.41	0.57	0.61	0.68
地域とのつながり	コミュニティ活動盛ん	0.27	0.28	0.42	0.48	0.52
地域とのつながり	相談できる人が身近	0.34	0.34	0.27	0.34	0.43
地域とのつながり	町内の人を手助け	0.26	0.24	0.13	0.23	0.30
地域とのつながり	町内に対して愛着	0.46	0.44	0.72	0.73	0.74
多様性と寛容性	町内どんな人の意見も受入	0.41	0.41	0.67	0.67	0.70
多様性と寛容性	見知らぬ他者も信頼	0.33	0.32	0.41	0.46	0.49
多様性と寛容性	人が自分をどう思うか気に	-0.09	-0.11	-0.22	-0.16	-0.06
多様性と寛容性	女性が活躍しやすい	0.46	0.46	0.79	0.75	0.73
多様性と寛容性	若い人が活躍しやすい	0.40	0.41	0.80	0.74	0.70

		幸福度	5年後の幸福度	生活満足度	町内の幸福度	周りも楽しい
自己効力感	自分のこと好ましく	0.60	0.59	0.75	0.70	0.70
健康状態	身体的に健康	0.54	0.54	0.67	0.66	0.63
健康状態	精神的に健康	0.62	0.58	0.68	0.66	0.63
文化・芸術	文化等が盛んで誇らしい	0.36	0.41	0.67	0.66	0.66
文化・芸術	将来のため良い文化等を残したい	0.39	0.41	0.58	0.60	0.64
教育機会の豊かさ	学べる機会	0.43	0.44	0.83	0.77	0.75
雇用・所得	やりたい仕事	0.35	0.36	0.80	0.71	0.65
雇用・所得	収入機会	0.35	0.35	0.77	0.69	0.63
事業創造	挑戦・成長	0.37	0.37	0.81	0.73	0.68

主観評価指標（アンケート質問項目＝KPI）

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う
- 住んでいる地域の暮らしに満足している

生活環境（16）

医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している（利便性）
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない（利便性）
- 飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている（秩序）
- 適度な費用で住居を確保できる

移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
- 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）

デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる（自然）
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる（自然）

環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

地域の間人間関係（2）

地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している（社会関係資本）
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
- 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
- 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動）
- このまちに愛着を持っている（一体感）

多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方（6）

自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる（一体感）

健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）

文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）

教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）

暮らしやすさ客観指数のカタログ（市区町村）

生活環境（16）

医療・福祉

- 医療施設徒歩圏人口カバー率
- 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり国保医療費 (-)
- 人口あたり後期高齢者医療費 (-)
- 特定健康診断受診率
- 福祉施設徒歩圏人口カバー率
- 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり児童福祉施設数
- 人口あたり障害者施設支援数
- 人口あたり認知症サポーター・サポーター数

買物・飲食

- 商業施設徒歩圏人口カバー率
- 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 可住地面積あたりの飲食店数
- 人口あたり飲食店数

住宅環境

- 住宅あたり延べ面積
- 平均価格（住宅地） (-)
- 専用住宅1m²あたり家賃 (-)
- 一戸建の持ち家の割合

移動・交通

- 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率
- 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)
- 人口あたり小型車走行キロ (-)
- 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合
- 職場までの平均通勤時間 (-)

遊び・娯楽

- 人口あたり娯楽業（映画館、劇場、スポーツ施設等）の事業所数

子育て

- 保育所まで1km未満の住宅割合
- 可住地面積あたり幼稚園数
- 施設あたり幼稚園児数 (-)
- 人口あたり待機児童数 (-)
- 歳出総額における教育費の構成比
- 合計特殊出生率

初等・中等教育

- 可住地面積あたり小学校数
- 可住地面積あたり中学校数
- 可住地面積あたり高等学校数
- 施設あたり小学生数 (-)
- 施設あたり中学生数 (-)
- 施設あたり高校生数 (-)

地域行政

- 人口あたり体育施設利用者数
- 人口あたり図書館帯出者数
- 人口あたり博物館入館者数
- 地域財政指数

デジタル生活

- 自治体DX指数
- デジタル政策指数
- デジタル生活指数

公共空間

- 公園緑地徒歩圏人口カバー率
- 人口あたり公園の面積
- 歩道設置率
- ウォークブル指数

都市景観

- 都市景観指数

自然景観

- 自然景観指数

自然の恵み

- 食料生産ポテンシャル
- 水供給ポテンシャル
- 木材供給ポテンシャル
- 炭素吸収量
- 蒸発散量
- 地下水涵養量
- 土壌流出防止量
- 窒素除去量
- リン酸除去量
- NO₂吸収量
- SO₂吸収量
- 洪水調整量
- 表層崩壊からの安全率
- 緑地へのアクセス度
- 水域へのアクセス度
- オートキャンプ場への立地確立

環境共生

- NO_x平均値 (-)
- PM_{2.5}年平均値 (-)
- ゴミのリサイクル率
- 人口あたり年間CO₂排出量 (-)
- 人口あたり再エネ発電量
- 環境政策指数

自然災害

- 外水氾濫危険度
- 高潮危険度
- 土砂災害危険度
- 地震動危険度
- 津波危険度
- ハード対策
- 避難・救助
- 要配慮者支援
- 防災教育
- 防災まちづくり
- 情報・デジタル防災

事故・犯罪

- 人口あたり交通事故件数* (-)
- 人口あたり刑法犯認知件数* (-)
- 空家率 (-)

指数を構成するKPIは次頁を参照
*各都道府県・市区町村HP等から取得
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

暮らしやすさ客観指数のカタログ（市区町村）

地域の間関係（2）

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自分らしい生き方（6）

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命（平均自立期間）（男性）
- 健康寿命（平均自立期間）（女性）

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財（建造物）の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

指数を構成するKPIは次頁を参照
*各都道府県・市区町村HP等から取得
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

暮らしやすさ客観指数で「指数」を構成するKPI内訳（市区町村）

- 「〇〇指数」は、構成する項目（施策・施設など）が「有り」の場合に1点、「無し」は0点とし、全項目の合計を算出。
- 自治体DX指数は、構成するカテゴリー（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとの点数の平均値の合計。

■ 地域財政指数

- ・ 財政力指数
- ・ 経常収支比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

■ 自治体DX指数

- ・ 自治体DXの推進体制等
 - ・ CIO任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
 - ・ CIO補佐官任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
 - ・ DXを推進するための全体方針策定の有無
 - ・ DXを推進するための全庁的・横断的な推進体制構築の有無
 - ・ DX推進専任部署設置の有無
 - ・ DXを推進するための外部デジタル人材任用の有無
 - ・ DX・情報化を推進するために行っている職員の育成の取組の有無
- ・ 行政サービスの向上・高度化
 - ・ 申請・届出等手続のオンライン化計画・オンライン利用促進計画策定の有無
 - ・ 申請・届出等手続をオンライン化するための通則条例制定の有無
 - ・ e-文書条例制定の有無
 - ・ 申請・届出等手続をオンライン化するためのシステム導入の有無
 - ・ コンビニにおける証明書等の交付等の有無

- ・ 市民視点の指標の策定の有無
- ・ 指標に基づいた市民満足度測定の有無
- ・ 各システムの電子決裁機能の有無
- ・ 災害時の被災者情報管理業務システム整備の有無
- ・ 統合型GIS導入の有無
- ・ 業務・システムの効率化
 - ・ 「地域情報プラットフォーム標準仕様」に準拠した製品の導入状況
 - ・ 情報システムの調達実績の有無
- ・ 情報セキュリティ対策の実施状況
 - ・ CISO任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
 - ・ 緊急時対応計画の策定の有無
 - ・ 情報システムに関する業務継続計画策定の有無
- ・ デジタルデバйд対策
 - ・ デジタルデバйд対策実施の有無

■ デジタル政策指数

- ・ 国土交通省Plateauの対象都市
- ・ 地方版IoT推進ラボの有無
- ・ 自治体によるオープンデータの有無
- ・ ローカル5G開発実証事業の採択の有無
- ・ スマートシティ合同審査の結果
- ・ 令和4年度デジ田交付金（type2/3）への採択
- ・ マイナンバーカード普及率
- ・ 国勢調査ネット回答率
- ・ 共創モデル実証プロジェクト
- ・ Digi田甲子園採択自治体

■ デジタル生活指数

- ・ Code forの団体の有無
- ・ ファブラボの有無
- ・ CoderDojoの有無
- ・ 大学のICT関連学部の有無
- ・ 高等専門学校の有無
- ・ 10万人あたり通信キャリア店舗数

■ ウォークブル指数

- ・ ウォークブル推進都市
- ・ （ウォークブル推進都市のうち）滞在快適性等向上区域を設定している自治体
- ・ 「地方版自転車活用推進計画」の有無

■ 都市景観指数

- ・ 「都市景観大賞」受賞の市区町村
- ・ 景観条例の有無
- ・ 景観重要建造物の有無
- ・ 景観協定の有無

■ 自然景観指数

- ・ 国立・国定公園の有無
- ・ 「美しい日本のむら景観百選一覧」
- ・ 景観重要樹木の有無
- ・ 重要文化的景観

暮らしやすさ客観指数で「指数」を構成するKPI内訳（市区町村）

- 「〇〇指数」は、構成する項目（施策・施設など）が「有り」の場合に1点、「無し」は0点とし、全項目の合計を算出。
- 自治体DX指数は、構成するカテゴリー（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとの点数の平均値の合計。

■ 環境政策指数

- SDGs未来都市
- 2050年ゼロカーボンシティ
- 気候変動イニシアティブへの参加
- 「地域循環共生圏実践地域」活動団体
- 脱炭素先行地域
- ゼロカーボンパーク

■ 多様性政策指数

- パートナーシップ宣誓制度の有無
- 性の多様性に関する条例の有無
- 障害差別解消に関する条例の有無
- 子どもに関する条例の有無
- バリアフリー基本構想の有無
- 男女共同参画条例
- ジェンダー平等条例

■ 関係人口創出活動指数

- 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの数
- 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの発信可能者数
- 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの関心度

KPIの測定主旨・出典：医療・福祉

測定主旨

- 医療機関へのアクセスが良く、混雑せずに診療を受けることが可能か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	医療施設徒歩圏人口 カバー率	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	未定	更新され 次第
2	医療施設徒歩圏平均 人口密度	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	未定	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：医療・福祉

測定主旨

・ 市民は健康であるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
3	人口あたり国民健康 保険者医療費	2020	2022/6	1年	厚生労働省「医療費の地域差分析」	2024/6	2024/12
4	人口あたり後期高齢 医療費	2020	2022/6	1年	厚生労働省「医療費の地域差分析」	2024/6	2024/12
5	特定健診・保健指導 実施状況	2020	2022/12	1年	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」	2023/12	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：医療・福祉

測定主旨

- 介護・福祉施設へのアクセスがよく、混雑せず十分なサービスを受けることが可能か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
6	福祉施設徒歩圏人口 カバー率	2015	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」、厚生労働省「介護サービス情報」)	未定	更新され 次第
7	福祉施設徒歩圏平均 人口密度	2015	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	未定	更新され 次第
8	人口あたり児童福祉 施設数	①2021 ②2020	①2022/12 ②2021/11	①1年 ②5年	①厚生労働省「社会福祉施設等調査」 ②人口は総務省「令和2年国勢調査」の値	①2023/12 ②2026/11	2024/12
9	人口あたり障害者支 援施設数	①2021 ②2020	①2022/12 ②2021/11	①1年 ②5年	①厚生労働省「社会福祉施設等調査」 ②人口は総務省「令和2年国勢調査」の値	①2023/12 ②2026/11	2024/12
10	人口あたり認知症サ ポーターメイト数	2023/9	2023/9	3か月	地域共生政策自治体連携機構「認知症サポーターキャラバン」	2023/12	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：買物・飲食

測定主旨

- 日常必需品へのアクセスがよく、混雑せず十分なサービスを受けることが可能か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	商業施設徒歩圏人口 カバー率	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：経済産業省「商業統計メッシュデータ」)	未定	更新され 次第
2	商業施設徒歩圏平均 人口密度	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：経済産業省「商業統計メッシュデータ」)	未定	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：買物・飲食

測定主旨

- 飲食店へのアクセスがよく、混雑せず十分なサービスを受けることが可能か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
3	人口あたり飲食店数	①2021 ②2020	①2021/6 ②2021/11	①5年 ②1年	①「飲食店数」を総務省「社会・人口統計体系」から入手 (原出典：総務省「経済センサス-活動調査」) ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①2026/6 ②2022/11	2026/12
4	可住地面積あたり飲食店数	①2021 ②2019	①2021/6 ②2021/6	①5年 ②1年	①「飲食店数」を総務省「社会・人口統計体系」から入手 (原出典：総務省「経済センサス-活動調査」) ②可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より (原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」)	①2026/6 ②2023/6	2026/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：住宅環境

測定主旨

- 適度な価格で、十分な広さの居住空間を確保できるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	住宅当たり延べ面積	2018	2019/9	5年	総務省「社会・人口統計体系」（原出典：総務省「住宅・土地統計調査」）	2024/9	2024/12
2	平均価格 (住宅地)	2023	2023/3	1年	国土交通省「地価公示」ページの「変動率及び平均価格の時系列推移表」	2024/3	2024/12
3	専用住宅1㎡あたり家賃	2018	2019/9	5年	総務省「住宅・土地統計調査」	2024/9	2024/12
4	一戸建の持ち家の割合	2018	2019/9	5年	総務省「住宅・土地統計調査」	2024/9	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：移動・交通

測定主旨

- 公共交通機関へのアクセスが良く、自家用車に依存し過ぎない生活は可能か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	未定	更新され 次第
2	駅およびバス停徒歩圏 (800m、300m) 人口密度	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	未定	更新され 次第
3	一人当たり小型車走行キロ	2014	2018/7	未定	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	未定	更新され 次第
4	通勤通学に自家用 車・オートバイ・タクシー を用いない割合	2020	2022/7	10年	総務省「国勢調査」	2032/6	2032/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：移動・交通

測定主旨

- 通勤時間は過度な負担ではないか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
5	職場までの平均通勤 時間	2018	2019/9	5年	総務省「住宅・土地統計調査」	2024/9	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：遊び・娯楽

測定主旨

- 娯楽の機会が十分にあるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	人口あたり娯楽業事業所数	①2021 ②2020	①2021/6 ②2021/11	①5年 ②1年	①「飲食店数」を総務省「社会・人口統計体系」から入手 (原出典：総務省「経済センサス-活動調査」) ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①2026/6 ②2022/11	2026/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：子育て

測定主旨

- 子育てを支援する施設へのアクセスが良く、施設規模も適切か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	最寄りの保育所までの 距離が1000m未満の 住宅の割合	2018	2019/9	5年	総務省「住宅・土地統計調査」	2024/9	2024/12
2	幼稚園数（可住地面 積100km ² あたり）	①2022 ②2019	①2023/3 ②2021/6	①1年 ②1年	①文部科学省「学校基本統計」 ②可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より (原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」)	①2024/3 ②2023/6	2024/12
3	一施設当たり幼稚園 児数	2022	2023/3	1年	文部科学省「学校基本統計」	2024/3	2024/12
4	人口あたり待機児童 数	2023	2023/8	1年	こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ」	2024/8	2024/12
5	歳出総額における教 育費の構成比	2021	2023/7	1年	総務省「地方財政状況調査」	2024/7	2024/12
6	合計特殊出生率	2013~ 2017	2020/7	5年	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」	2025/7	2025/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：初等・中等教育

測定主旨

- 教育環境（小学校、中学校、高校）は整っているか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定	
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典		
1	小学校数（可住地面積100kmあたり）	①2022 ②2019	①2023/3 ②2021/6	①1年 ②1年	①文部科学省「学校基本調査」 ②可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より (原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」)	①2024/3 ②2023/6	2024/12
2	中学校数（可住地面積100kmあたり）	①2022 ②2019	①2023/3 ②2021/6	①1年 ②1年	①文部科学省「学校基本調査」 ②可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より (原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」)	①2024/3 ②2023/6	2024/12
3	高等学校数（可住地面積100kmあたり）	①2022 ②2019	①2023/3 ②2021/6	①1年 ②1年	①文部科学省「学校基本調査」 ②可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より (原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」)	①2024/3	2024/12
4	一施設当たり小学生数	2022	2023/3	1年	文部科学省「学校基本調査」	2024/3	2024/12
5	一施設当たり中学生数	2022	2023/3	1年	文部科学省「学校基本調査」	2024/3	2024/12
6	一施設当たり高校生数	2022	2023/3	1年	文部科学省「学校基本調査」	2024/3	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：地域行政

測定主旨

・ 公共サービスは充実しているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	人口あたり体育施設 利用者数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	更新され 次第
2	人口あたり図書館退 出者数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	更新され 次第
3	人口あたり博物館入 館者数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：地域行政

測定主旨

・ 公共サービスは持続可能か？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
4	地方公共団体の主要 財政指数	下段ご参照			下段KPI毎の偏差値の平均値		
4a	財政力指数	2022	2022/12	1年	総務省「地方財政状況調査－地方公共団体の主要財政指標一覧」	2023/12	2024/12
4b	経常収支比率	2022	2022/12	1年	総務省「地方財政状況調査－地方公共団体の主要財政指標一覧」	2023/12	2024/12
4c	実質公債費比率	2022	2022/12	1年	総務省「地方財政状況調査－地方公共団体の主要財政指標一覧」	2023/12	2024/12
4d	将来負担比率	2022	2022/12	1年	総務省「地方財政状況調査－地方公共団体の主要財政指標一覧」	2023/12	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：デジタル生活

測定主旨

行政がデジタルの利活用を推進しているか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定	
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典		
1	自治体DX指数	2022	2023	1年	総務省「自治体DX・情報化推進概要」：KPIに該当する自治体は1点、しない自治体は0点を配点。カテゴリー（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）ごとに平均値を算出。4カテゴリーの合計を指数として採用	2024	2024/12
2	デジタル政策指数	下段参照			（施策等の有無を1か0で表した）下段KPIの合計		下段参照
2a	国土交通省Plateauの対象都市	2023	2023/11	随時	国土交通省HP「Project PLATEAU ver1.0 をリリース—全国56都市の3D都市モデル整備とユースケース開発が完了—」	随時	2024/12
2b	地方版IoT推進ラボの有無	2023	2023/10	随時	「地方版IoT推進ラボ」HP内「地域から選ぶ」	随時	2024/12
2c	自治体によるオープンデータの有無	2023	2023/6	随時	デジタル庁HP「オープンデータ取組済自治体一覧」	随時	2024/12
2d	ローカル5G開発実証事業採択の有無	2022	2022/8	不明	「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」等に係る令和4年度事業の提案の公募の結果（開発実証事業）	不明	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：デジタル生活

測定主旨

・ 行政がデジタルの利活用を推進しているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
2e	スマートシティ合同審査結果	2023	2023/6	1年	経済産業省「スマートシティ関連事業の選定結果」	2024/7	2024/12
2f	マイナンバーカード取得率	2023/10	2023/11	毎月	総務省HP「マイナンバー制度とマイナンバーカード」：最大値（最も取得率が高い自治体）と比較した割合を0~1で表している	2023/12	2024/12
2g	国勢調査ネット回答率	2020	2021/11	5年	総務省統計局HP「令和2年国勢調査の概要」：最大値（最も回答率が高い自治体）と比較した割合を0~1で表している	2026/11	2026/12
2h	共創モデル実証プロジェクト	2023	2023	随時	国土交通省HP「地域交通共創モデル実証プロジェクト」	随時	2024/12
2i	Digi田甲子園採択自治体	2022	2022	随時	内閣府HP「Digi田甲子園」	随時	2024/12
2j	デジタル田園都市国家構想採択自治体	2023	2023	随時	内閣府HP「デジタル田園都市国家構想」	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：デジタル生活

測定主旨

デジタルが活用されるための環境が整っているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
3	デジタル生活指数	下段参照			(施策等の有無を1か0で表した) 下段KPIの合計		下段参照
3a	Code forの団体の有無	2023	随時	随時	「Code for Japan」のHP内「Brigadeネットワーク参加団体」	随時	2024/12
3b	ファブラボの有無	2023	随時	随時	「FabLab Japan」のHP内「FabLabs in Japan」	随時	2024/12
3c	CoderDojoの有無	2023	随時	随時	「CoderDojo Japan」のHP内「日本各地の道場」	随時	2024/12
3d	大学のICT関連学部の有無	2016	2017/3	不明	文部科学省「超スマート社会における情報教育の在り方に関する調査研究」	不明	更新され次第
3e	高等専門学校の有無	2023	随時	随時	文部科学省HP内「関係機関リンク集」 > 「国公立高等専門学校」	随時	2024/12
3f	人口あたり通信キャリア店舗数	2023	随時	随時	キャリア4社HPをもとにSCI-Jが独自集計 人口は2020年総務省「国勢調査」の値 最大値（最も店舗数が多い自治体）と比較した割合を0~1で表している	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：公共空間

測定主旨

- 公園や緑地等の公共空間が、混み過ぎず、かつ徒歩圏に存在するか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	公園緑地徒歩圏人口 カバー率	2011	2018/7	不明	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	不明	更新され 次第
2	人口あたり公園の面 積	①2021 ②2020	①2023/9 ②2021/11	①1年 ②5年	①総務省「公共施設状況調経年比較表」 ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①2024/9 ②2026/11	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：公共空間

測定主旨

- 歩きたくなる街並みか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
3	歩道設置率	2015	2018/7	不明	国土交通省「都市モニタリングシート」 (原出典：国土交通省「国土数値情報」)	不明	更新され 次第
4	ウォーカブル指数	下段参照			ウォーカブル推進都市は1点、ウォーカブル推進都市のうち滞在快適性等向上区域を設定している自治体は合計2点。点数の合計を算出		
4a	ウォーカブル推進都市	2023	2023/10	随時	国土交通省HP「ウォーカブル推進都市一覧」	随時	2024/12
4b	ウォーカブル推進都市のうち滞在快適性等向上区域を設定している自治体	2023	2023/10	随時	国土交通省都市局まちづくり推進課 滞在快適性等向上区域の設定実績※令和 2年 10 月末時点	随時	2024/12
4c	「地方版自転車活用推進計画」の有無	2023	2023	随時	国土交通省HP「自転車活用推進計画」	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：都市景観

測定主旨

- 素敵な都市景観があるか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	
1	都市景観指数	下段参照			(施策等の有無を1か0で表した) 下段KPIの合計	下段参照
1a	「都市景観大賞」受賞 の市区町村	2011- 2023	2023/5	1年	国土交通省 「都市景観大賞」において「都市空間部門」の「大賞」、「特別賞」、「優 秀賞」を授賞した地区の市区町村	2024 2024/12
1b	景観条例の有無	2023	2023/10	不定期	景観行政ネットHP「景観法に基づく景観条例等一覧」	2024 2024/12
1c	景観重要建造物の有 無	2023	2023/3	-	国土交通省「景観法の施行状況（令和5年3月31日時点）」	2024 2024/12
1d	景観協定の有無	2023	2023/3	-	国土交通省「景観法の施行状況（令和5年3月31日時点）」	2024 2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然景観

測定主旨

- 綺麗な自然の景色があるか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定	
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典		次回データ 更新見込※
1	自然景観指数	下段参照			(施策等の有無を1か0で表した) 下段KPIの合計		下段参照
1a	国立・国定・都道府県立公園の有無	2023	随時	随時	環境省「国立公園一覧」、「国定公園一覧」をもとにをもとにSCI-Jによる独自集計	随時	更新され 次第
1b	「美しい日本のむら景観百選一覧」	1991	1991	不明	農林水産省「美しい日本のむら景観百選一覧」	不明	更新され 次第
1c	景観重要樹木の有無	2023	2023/3	1年	国土交通省「景観法の施行状況（令和3年3月31日時点）」	2024	2024/12
1d	重要文化的景観	2023	2023/9	随時	文化庁「文化的景観」	2024	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然の恵み

測定主旨

- 豊かな自然環境はあるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	食料供給ポテンシャル	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
2	水供給ポテンシャル	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
3	木材供給ポテンシャル	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
4	炭素吸収量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
5	蒸発散量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
6	地下水涵養量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然の恵み

測定主旨

- 豊かな自然環境はあるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
7	リン酸除去量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
8	NO2吸収量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
9	SO2吸収量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
10	洪水調整量	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
11	表層崩壊からの安全 率	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
12	緑地へのアクセス度	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然の恵み

測定主旨

- 豊かな自然環境はあるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
13	水域へのアクセス度	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第
14	オートキャンプ場への立 地確立	2010	2022	不明	総合地球環境学研究所Eco-DRRプロジェクト（2023）J-ADRES：自然の恵みと 災いからとらえる土地利用総合評価	不明	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：環境共生

測定主旨

• 空気はきれいか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	窒素酸化（NOx） 年平均値	2019	2021/10	不明	国立環境研究所HP「大気環境月間値・年間値データ」	不明	更新され 次第
2	微小粒子状物質 (PM2.5)年平均値	2019	2021/10	不明	国立環境研究所HP「大気環境月間値・年間値データ」	不明	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：環境共生

測定主旨

- 地球環境への負荷が高くはないか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
3	ごみのリサイクル率	2021	2023/4	1年	環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」	2024/4	2024/12
4	人口あたり年間CO2 排出量	2020	2022/10	1年	環境省「部門別CO2排出量の現況推計」	2023	2024/12
5	人口あたり再生可能エ ネルギー容量	2023/5	2023/11	3か月	資源エネルギー庁HP「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」	2024/2	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：環境共生

測定主旨

- 地球環境への負荷が高くはないか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
6	環境政策指数	下段参照			(施策等の有無を1か0で表した) 下段KPIの合計		下段参照
6a	SDGs未来都市	2023	2023	1年	内閣官房・内閣府総合サイト地方創生「」地方創生SDGs・「環境未来都市」構想	2024	2024/12
6b	2050年ゼロカーボンシ ティの表明	2023	2023/12	随時	環境省HP 「地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明の状況」	随時	2024/12
6c	気候変動イニシアティ ブへの参加	2023	2023/11	随時	気候変動イニシアティブHP「参加団体一覧」	随時	2024/12
6d	「地域循環共生圏実 践地域」活動団体	2023	2023/10	随時	環境省HP 「ローカルSDGs 各地域の取組をみてみよう - 地域循環共生圏実践地域の紹介 -」	随時	2024/12
6e	脱炭素先行地域	2023	2023/11	随時	環境省HP「脱炭素先行地域選定結果（第1回）」	随時	2024/12
6f	ゼロカーボンパーク	2023	2023/8	随時	環境省HP「ゼロカーボンパークの推進」	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然災害

測定主旨

・ 自然災害のリスクが高くはないか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定	
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典		次回データ 更新見込※
-	(ハザードKPI共通) 危険度を「災害危険工 リアの居住人口割合」 として、1～6の自然災 害ごとに算出	①2015 ②2021 ③2009 ④2020	①－ ②2021 ③2011 ④2022/7	①－ ②1年 ③－ ④5年	①総務省「統計地理情報システム 5次メッシュ（世界測地系）」 ②国土交通省 国土数値情報「行政区域データ 第3.0版」 ③国土交通省 国土数値情報「標高・傾斜度5次メッシュデータ 第3.0版」 ④総務省「地域メッシュ統計 令和2年国勢調査 世界測地系（250mメッシュ）」 以下の1～6は、①～④および各KPI出典欄に記載のデータをGIS上で空間演算した結 果をもとに {スマートシティ・インスティテュート/東京海上日動火災保険株式会社} が算 出	随時	未定
1	【ハザードKPI】 外水氾濫危険度	⑤2020 ⑥2021 ⑦－	⑤2021/6 ⑥2022/6 ⑦－	⑤－ ⑥－ ⑦－	⑤国土交通省 国土数値情報「洪水浸水想定区域データ 第2.2版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「洪水浸水想定区域データ 第3.0版」 ⑦国土交通省 国土数値情報「河川データ 第3.1版」	随時	未定
2	【ハザードKPI】 高潮危険度	⑤2020 ⑥2021 ⑦－	⑤2021/6 ⑥2022/6 ⑦－	⑤－ ⑥－ ⑦－	⑤国土交通省 国土数値情報「高潮浸水想定区域データ 第1.0版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「高潮浸水想定区域データ 第1.1版」 ⑦国土交通省 国土数値情報「海岸線データ 第3.1版」	随時	未定
3	【ハザードKPI】 土砂災害危険度	⑤2010 ⑥2021	⑤2011/4 ⑥2022/6	⑤－ ⑥－	⑤国土交通省 国土数値情報「土砂災害危険箇所データ 第2.0版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「土砂災害警戒区域データ 第2.0版」※ ※ 京都府・岡山県はデータ利用規約により未使用	随時	未定

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然災害

測定主旨

- 自然災害のリスクが高くはないか？

	KPI	利用データ（現状）					次回データ更新見込※	SCIJによる更新予定
		調査年	公開（更新年月）	更新頻度	出典			
4	【ハザードKPI】 地震動危険度	⑤2020	⑤2021/3	⑤－	⑤J-SHIS 地震ハザードステーション「確率的地震動予測地図（2020年版/平均ケース）」		随時	未定
5	【ハザードKPI】 津波危険度	⑤2016～ 18 ⑥2020 ⑦2021 ⑧－	⑤2017～ 20 ⑥2021/6 ⑦2022/6 ⑧－	⑤－ ⑥－ ⑦－ ⑧－	⑤国土交通省 国土数値情報「津波浸水想定データ 第1.1版」 ⑥国土交通省 国土数値情報「津波浸水想定データ 第2.0版」 ⑦国土交通省 国土数値情報「津波浸水想定データ 第2.1版」 ⑧国土交通省 国土数値情報「海岸線データ 第3.1版」		随時	未定

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然災害

測定主旨

- 防災への取組や備えは充実しているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
6	【防災対策KPI】 ハード対策	下段参照			下段KPIの平均値		下段参照
6-1	公共施設の耐震化率	2021	2022/10	1年	総務省 消防庁「防災拠点となる公共施設等の耐震化の状況」	随時	未定
7	【防災対策KPI】 避難・救助	下段参照			下段KPIの平均値		下段参照
7-1	指定緊急避難場所の 災害種別指定適切度	2022	2022/11	都度	国土交通省 国土地理院「指定緊急避難場所データ」 上記データと以下各欄のデータをもとに {スマートシティ・インスティテュート/東京海上日 動火災保険株式会社} が算出	随時	未定
7-1A	外水氾濫	2022	2023	—	「1【ハザードKPI】外水氾濫危険度KPI」で使用した東京海上作成データ	随時	未定
7-1B	高潮	2022	2023	—	「3【ハザードKPI】高潮危険度KPI」で使用した東京海上作成データ	随時	未定
7-1C	土砂災害	2022	2023	—	「4【ハザードKPI】土砂災害危険度KPI」で使用した東京海上作成データ	随時	随時
7-1D	津波	2022	2023	—	「6【ハザードKPI】津波危険度KPI」で使用した東京海上作成データ	随時	随時

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然災害

測定主旨

- 防災への取組や備えは充実しているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
8	【防災対策KPI】 要配慮者支援	下段参照			下段KPIの平均値		下段参照
8-1	避難行動要支援者名 簿の作成・管理	2022	2022/6	1年	以下のデータをもとに {スマートシティ・インスティテュート/東京海上日動火災保険株式会社} が算出 / 総務省 消防庁「避難行動要支援者名簿に係る取組状況調査」	随時	未定
8-2	個別避難計画の作 成・管理	2022	2022/6	1年	以下のデータをもとに {スマートシティ・インスティテュート/東京海上日動火災保険株式会社} が算出 / 総務省 消防庁「個別避難計画の作成等に係る取組状況調査」	随時	未定
9	【防災対策KPI】 防災教育	下段参照			下段KPIの平均値		下段参照
9-1	災害伝承碑の設置数	2022	2022/12	都度	・国土交通省 国土地理院HP「災害伝承碑データ」	随時	未定

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自然災害

測定主旨

・ 防災への取組や備えは充実しているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
10	【防災対策KPI】 防災まちづくり	下段参照			下段KPIの平均値		下段参照
10-1	立地適正化計画の作成状況	2022	2022/12	都度	以下の資料をもとに作成状況に応じて {スマートシティ・インスティテュート/東京海上日動火災保険株式会社} が指数化 (0未作成、1取組中、2作成済) ・国土交通省 都市局「立地適正化計画作成の取組状況」	随時	未定
10-2	防災指針の作成状況	2022	2022/12	都度	以下の資料をもとに作成状況に応じて {スマートシティ・インスティテュート/東京海上日動火災保険株式会社} が指数化 (0未作成、1作成済) ・国土交通省 都市局「立地適正化計画作成の取組状況」	随時	未定
11	【防災対策KPI】 情報・デジタル防災	下段参照			下段KPIの平均値		下段参照
11-1	マイナポータルへの罹災証明発行手続きの導入	2022/11	2022	都度	デジタル庁HP「マイナポータル」から市区町村別の手続きを検索し、罹災証明発行手続きの有無により指数化 (1掲載確認、0未導入または未掲載)	随時	未定

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：事故・犯罪

測定主旨

- 交通事故は少ないか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	人口あたり交通事故 件数	~2022	自治体による	自治体 による	各都道府県HP及び市区町村HP 人口は2020年総務省「国勢調査」の値	自治体による	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：事故・犯罪

測定主旨

- 犯罪は少ないか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
2	人口あたり刑法犯認知件数	~2022	自治体による	自治体による	各都道府県HP及び市区町村HP 人口は2020年総務省「国勢調査」の値	自治体による	2024/12
3	空家率	2018	2019/9	5年	総務省「住宅・土地統計調査」	2024	2025/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：地域とのつながり

測定主旨

- ・ 孤独を感じる人は少ないか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	人口あたり自殺者数	①2022 ②2020	①2023/3 ②2021/11	①1年 ②5年	①厚生労働「地域における自殺の基礎資料」 ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①2024 ②2026/11	2024/12
2	拡大家族世帯割合	2020	2021/11	5年	総務省「国勢調査」	2026/11	2026/12
3	既婚者割合 (15歳以上人口)	2020	2023/6	不明	総務省「社会・人口統計体系」における「未婚者割合」より算出 (原出典：総務省「国勢調査」)	不明	更新され 次第
4	高齢単身世帯の割合	2020	2021/11	5年	総務省「国勢調査」	2026/11	2026/12
5	居住期間が20年以上 の人口の割合	2015	2017/9	5年	総務省「国勢調査」世帯構造等基本集計	不明	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：地域とのつながり

測定主旨

- 地域の人と交流する機会があるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
6	祭り開催数	2023	随時	随時	オマツリジャパンに掲載の祭りの数	随時	2024/12
7	自治会・町内会加入率	~2022	SCI-Jが独自集計	SCI-Jが独自集計	都道府県HP及び市区町村HPをもとにSCI-Jが独自集計 *自治会・町内会加入率は各自治体の定義を採用	SCI-Jが独自集計	2024/12
8	人口あたり政治・経済・文化団体の数	①2021 ②2020	①2023/6 ②2021/11	①5年 ②5年	①総務省「経済センサス」-活動調査における「政治・経済・文化団体」の事業所数 ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	2028/6	2028/12
9	人口あたり宗教の事業所数	①2021 ②2020	①2023/6 ②2021/11	①5年 ②5年	①総務省「経済センサス」-活動調査における「宗教」の事業所数 ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	2028/6	2028/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：地域とのつながり

測定主旨

- 地域の人と交流する機会があるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
10	人口あたりNPOの数	①2023 ②2020	①2023 ②2021/11	①随時 ②5年	①内閣府「NPO法人ポータルサイト」において「主たる事務所の所在地」が当該都市内の法人数 ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①随時 ②2026/11	2024/12
11	人口あたり都市再生 推進法人・アーバンデ ザインセンター (UDC) の数	①2023 ②2023	①随時 ②随時	①随時 ②随時	①都市再生推進法人の数は、 官民連携まちづくりポータルサイト「都市再生推進法人一覧」 ②UDCの数は、UDCイニシアチブHP「全国のUDC」 人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：地域とのつながり

測定主旨

- 地域の関係人口を創出する取組みは盛んであるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
12	関係人口創出活動指数	下段参照			下段KPIを均等のウェイトで計算した指数 {スマートシティ・インスティテュー}		下段参照
12a	地域への移住・関係人口創出プロジェクトの数	2023/10	随時	随時	地域における移住・関係人口の取組みの多さを評価するため、移住スカウトサービス「SMOUT」に掲載された各市区町村のプロジェクト数を算出 {株式会社カヤック}	随時	2024/12
12b	地域への移住・関係人口創出プロジェクトの発信可能者数	2023/10	随時	随時	地域における移住・関係人口の取組みに多くの地元民が関わっていることを評価するため、移住スカウトサービス「SMOUT」に掲載された「地域の発信者・居住者数」を算出 {株式会社カヤック}	随時	2024/12
12c	地域への移住・関係人口創出プロジェクトの関心度	2023/10	随時	随時	地域における移住・関係人口の取組みに対する外部の関心度を評価するため、移住スカウトサービス「SMOUT」に掲載された上記プロジェクトへの「興味ある」の数を算出 {株式会社カヤック}	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：多様性と寛容性

測定主旨

- 多様な社会を実現できているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	市区町村議会における女性議員の割合	2022	2023	1年	総務省 地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調、割合は総務省資料より作成	2024	2024/12
2	自治体における管理職の女性割合	2022	2023	1年	内閣府 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況	2024	2024/12
3	自治体職員における障害者の割合	2022	2022/12	1年	厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」（市町村ごとの状況は各労働局にて公表）	2023/12	2024/12
4	人口あたり外国人人口	2020	2021/11	5年	総務省「国勢調査」	2026/11	2026/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：多様性と寛容性

測定主旨

- 多様な社会を実現できているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
5	多様性指数	下段参照			(施策等の有無を1か0で表した) 下段KPIの合計		下段参照
5a	パートナーシップ宣誓 制度の有無	2021	2021/10	不明	一般社団法人日本LGBTサポート協会「パートナーシップ宣誓制度について」 (2021年10月時点)	不明	更新され 次第
5b	性の多様性に関する 条例の有無	2022	随時	随時	地方自治研究機構「性の多様性に関する条例」	随時	2024/12
5c	障害差別解消に関する 条例の有無	2022	随時	随時	地方自治研究機構「障害差別解消に関する条例」	随時	2024/12
5d	子どもに関する条例の 有無	2022	随時	随時	地方自治研究機構「子どもに関する条例」	随時	2024/12
5e	バリアフリー基本構想 の有無	2021	随時	随時	地方自治研究機構「バリアフリー基本構想」	随時	2024/12
5f	男女共同参画条例・ ジェンダー平等条例	2022	随時	随時	地方自治研究機構「男女共同参画条例・ジェンダー平等条例」	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：自己効力感

測定主旨

- 選挙を通じて、自分の意思を社会に反映することができるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	首長選挙投票率	~ 2023/10	投票日後 随時	投票日 後 随時	「選挙ドットコム」HPに掲載されている直近3選挙の平均値	投票日後 随時	2024/12
2	市区町村議会投票率	~ 2023/10	投票日後 随時	投票日 後 随時	「選挙ドットコム」HPに掲載されている直近3選挙の平均値	投票日後 随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：健康状態

測定主旨

・ 市民は健康であるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	健康寿命 (平均自立期間) (男性)	2023/8	2023	1ヶ月	以下のデータをもとにスマートシティ・インスティテュートが算出 ・総務省 令和2年国勢調査結果「市区町村別・年齢階級別の総人口」 ・厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」 ・厚生労働省「介護保険事業状況報告・月次」	2024	2024/12
2	健康寿命 (平均自立期間) (女性)	2023/8	2023	1ヶ月	以下のデータをもとにスマートシティ・インスティテュートが算出 ・総務省 令和2年国勢調査結果「市区町村別・年齢階級別の総人口」 ・厚生労働省「令和2年市区町村別生命表」 ・厚生労働省「介護保険事業状況報告・月次」	2024	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：文化・芸術

測定主旨

- 芸術家が多く集まっているか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	従業者数における芸術家・著述家等の割合	2020	2022/11	5年	総務省「国勢調査」において職業分類が「著述家，記者，編集者」、「美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者」及び「音楽家，舞台芸術家」の割合 総従業者数も総務省「国勢調査」	2027	2027/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：文化・芸術

測定主旨

- 文化財が多く存在するか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
2	国宝・重要文化財 (建造物) の数	2023	随時	随時	文化庁HP「国指定文化財等データベース」	随時	2024/12
3	日本遺産の数	2023	随時	随時	文化庁HP 「日本遺産ポータルサイト」をもとにスマートシティ・インスティテュートが独自集計	随時	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：教育機会の豊かさ

測定主旨

- 地域の教育水準は高く、教育の選択肢が多いか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定	
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典		
1	大卒・院卒者の割合	①2010 ②2020	①2022/6 ②2021/11	①10年 ②5年	①総務省「社会・人口統計体系」より「最終学歴人口（大学・大学院）」を入手 （原出典：総務省「国勢調査」） ②人口は2020年総務省「国勢調査」の値	①2030 ②2026/11	2026/12
2	大学・短期大学の数 （可住地面積100km ² あたり）	①2021 ②2019	①2022 ②2021/6	①1年 ②1年	①文部科学省「大学・短期大学・高等専門学校・学校法人一覧」 ②可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より （原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」）	①2023 ②2023/6	2024/12
3	可住地面積あたり国 立・私立中高一貫校 数	①2016 ②2021 ③2019	①2017/3 ②随時 ③2021/6	①不定期 ②随時 ③1年	①私立高校は文部科学省「高等学校教育の改革に関する推進状況について」 （2017年3月） ②国立高校はナレッジステーションHP「国立高校一覧」（2021年11月時点） ③可住地面積は総務省「社会・人口統計体系」より （原出典：国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」（2019年）	①不明 （2017年以 降未公開） ②随時 ③2023/6	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：教育機会の豊かさ

測定主旨

- 地域の教育水準は高く、教育の選択肢が多いか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
4	人口あたり生涯学習講座数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	不明
5	人口あたり生涯学習講座受講者数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	不明
6	人口あたり青少年教育施設利用者数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	不明
7	人口あたり女性教育施設利用者数	2018	不明	不明	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」原出典：社会教育調査を活用した地方公共団体のEBPM推進に関する調査研究	不明	不明

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：雇用・所得

測定主旨

・ 十分な雇用機会があるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
1	完全失業率	2020	2022/4	5年	総務省「社会・人口統計体系」（原出典：総務省「国勢調査」）	2027/10	2027/12
2	若年層完全失業率	2020	2022/4	5年	総務省「国勢調査」	2027/5	2027/12
3	正規雇用者比率	2020	2022/4	5年	総務省「社会・人口統計体系」（原出典：総務省「国勢調査」）	2027	2027/12
4	高齢者有業率	2020	2022/4	5年	総務省「社会・人口統計体系」（原出典：総務省「国勢調査」）	2027/5	2027/12
5	高卒者進路未定者率	2022	2023/3	1年	文部科学省「学校基本統計」	2024/12	2024/12
6	市区町村内で従業している者の割合	2020	2022/6	5年	総務省「国勢調査」	2027/6	2027/12
7	創業比率	2016	随時	随時	経済産業省・内閣府「RESAS（地域経済分析システム）」	随時	更新され 次第

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：雇用・所得

測定主旨

- 適切な水準の所得を得られるか？

	KPI	利用データ（現状）					SCIJ による 更新予定
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典	次回データ 更新見込※	
8	納税者あたり課税対象所得	①2022 ②2022	①2023/3 ②2023/3	1年	①総務省「市町村税課税状況等の調」の「所得割の納税義務者数」から算出 ②総務省「市町村税課税状況等の調」の「課税対象所得」から算出	2024/3	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

KPIの測定主旨・出典：事業創造

測定主旨

- スタートアップが振興する環境があるか？

	KPI	利用データ（現状）				SCIJ による 更新予定	
		調査年	公開 (更新年月)	更新 頻度	出典		次回データ 更新見込※
1	クリエイティブ産業の事業所の構成比	2021	2023/6	5年	総務省「経済センサス-活動調査」より対象産業の事業数合計を「全産業の事業数」で割った。 対象産業は、「港区におけるクリエイティブ産業実態調査」に基づき、広告業、著述・芸術家業、ソフトウェア業、デザイン業、映像情報制作・配給業、音声情報制作業、出版業、建築設計、印刷業、広告制作業、民間放送業、新聞業、衣服裁縫修理業、家具製造業、旅行業を採用	2028/6	2028/12
2	新規設立法人の割合	2022	随時	随時	国税庁法人番号公表サイトをもとにスマートシティ・インスティテュートが独自集計	随時	2024/12
3	従業者あたりコワーキングスペースの数	①2023 ②2020	①随時 ②2021/11	①随時 ②5年	①コワーキング ジャパンHP ②総従業者数は総務省「社会・人口統計体系」 (原出典：総務省「国勢調査」)	①随時 ②2026/11	2026/12
4	大学発ベンチャー企業数	2022	2023/6	1年	経済産業省HP「大学発ベンチャーデータベース」	2024/6	2024/12

※利用データ(現在)更新頻度、次回データ更新見込は、原出典統計データの過去の更新頻度からの見込(推測)です。正確な更新時期の把握は、出典元の発表確認が必要です。

本資料のご活用に向けて

- 本資料は、信頼できると思われる各種公開情報・オープンデータ等に基づいて作成されていますが、当法人はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に基づくご利用者様の決定、行為、及びその結果について、当法人は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、ご利用者様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュートと明記してください。